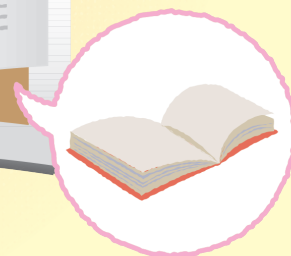
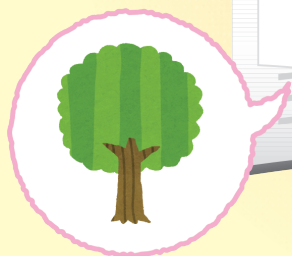
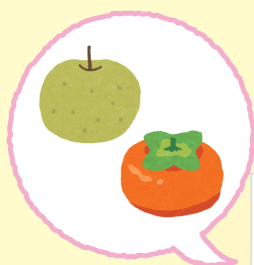
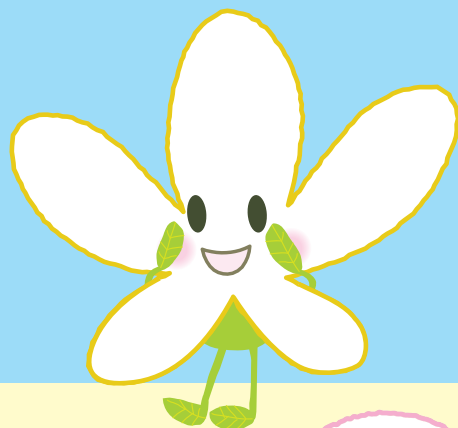


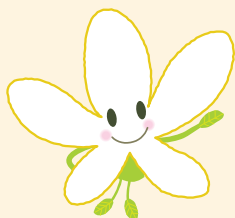
なるほどあおば 2024

データで見る青葉区



横浜市青葉区役所

なしかちゃん



青葉区のマスコット

平成21年4月12日、青葉区制15周年を記念して、青葉区のマスコットが誕生しました。

区内の子どもたちから寄せられたデザインから、区民の皆さまの投票をもとに選ばれました。(ナシの花のイメージ)

また、あわせて募集した愛称の中から、「なしかちゃん」と名付けられました。



青葉区

青葉区のシンボルマーク

AOBAの文字を木のイメージに重ねて「丘の横浜」をシンボライズし、自然の持つ優しい雰囲気表現しました。

区の木 ヤマザクラ



青葉区の「区の木・区の花」

平成16年11月6日、青葉区制10周年を記念して、区民の皆さまの投票をもとに「区の木・区の花」を制定しました。

区の花 ナシ



ご利用にあたって

- 構成比、総数等の合計については、端数を四捨五入してあるため必ずしも内訳計と一致しない場合があります。
- この統計データは、青葉区ホームページでxlsx形式で提供しています。

🔍 青葉区 オープンデータ

検索



目次

【特集】青葉区の魅力	2
■ 青葉区的主要データ指標	4
1 位置・地勢・まち	6
2 人口・世帯	8
3 地域経済	18
4 暮らし・生活・環境	20
5 福祉	27
6 保健・衛生	30
7 国民年金・国民健康保険	31
8 教育・生涯学習	32
9 市税	34
10 戸籍・住民登録	35
11 選挙	36
12 青葉区区民意識調査	37
13 沿革	38

青葉区の魅力

青葉区は、計画的に整備された美しい街並みや豊かな自然、活発な地域の力など、様々な魅力にあふれたまちです。この特集では、そうした青葉区の魅力を紹介いたします。

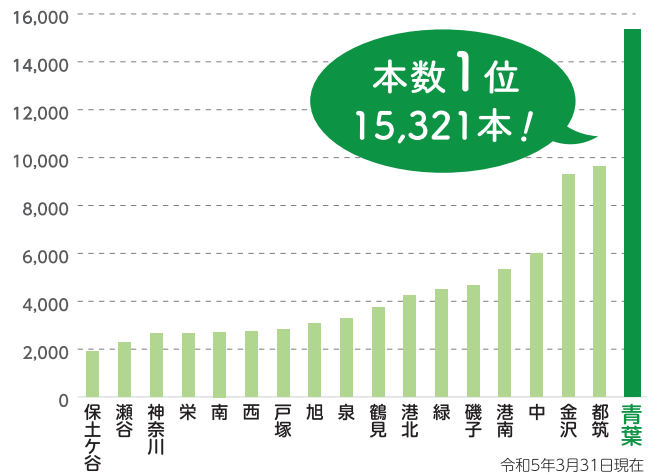
青葉区の緑・農業

街路樹〔歩道並木〕の多さが 横浜市内第1位



青葉区は横浜市内で街路樹数〔歩道並木〕第1位を誇ります。樹種別で見るとイチョウが一番多く、2番目がサクラ類、3番目がハナミズキです。春はサクラのピンクから始まり、追ってハナミズキの白や薄ピンクの花、そして秋にはイチョウの葉の黄色。いつもの道、身近な街路樹からも季節の美しさを味わえます。

横浜市内 区別街路樹数(単位:本)

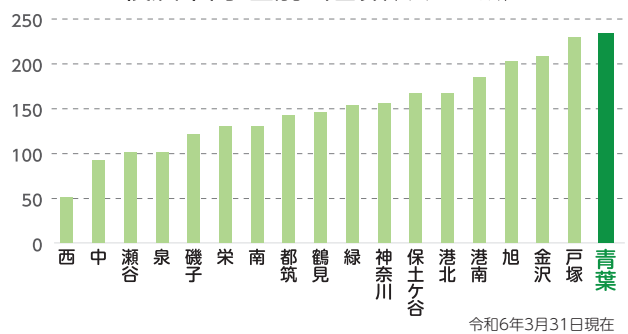


公園の多さが 横浜市内第1位



青葉区内にある235の公園は、桜・原っぱ・大きな遊具等、それぞれに特徴があり、多世代で楽しむことができます。また、地域の皆様を中心に結成された「公園愛護会」は、身近な公園の日常的な管理を行っており、いつも公園を見守ってくれています。

横浜市内 区別公園数(単位:箇所)



田の経営耕地面積 横浜市内第1位



青葉区内にある田の経営耕地面積は3,199aで市内第1位となっています。鶴見川や恩田川沿い、寺家ふるさと村には美しい田園風景が広がっており、青葉区産の米粉を使ったスイーツは絶品で、隠れた名産となっています。

果樹の農業経営体数 横浜市内第3位



販売目的で栽培した果樹の作物別栽培経営体数をみると、青葉区は果樹全体(116経営体)では市内第3位、「柿」(29経営体)や「日本なし」(28経営体)では市内第2位の多さとなっています。「浜なし」は市内の認定された生産者団体が生産する日本なしの総称で、市場に出回らない幻のなしもよばれています。

青葉区の 魅力都市農業

青葉区は、都心に近い地域でありながら、市内でも農業が盛んな地域です。区内でとれた新鮮な農産物などの直売を行う「あおばマルシェ」の開催や、地場野菜を使ったメニューを提供する飲食店等、農や地産地消について、「あおば花・緑・農めぐりマップ」等により情報発信を行い、青葉区の魅力をさらに高めています。また、区内の小学生向けに青葉区の農を深く学ぶコンテンツ「青葉区の農っていいね」ブックを作成するなど、これからも、区民にとって身近な場所で都市農業が営まれている特徴を生かし、住宅地と農地が共生する魅力あるまちづくりを進めていきます。



青葉区のライフ♡

男性の平均寿命 全国第2位



厚生労働省発表の「令和2年市町村別生命表」で、青葉区の男性の平均寿命が全国第2位(青葉区平均:83.9歳、全国平均:81.5歳)となり、女性の平均寿命も全国第13位(青葉区平均:88.8歳、全国平均:87.6歳)となりました。男女共に、前回調査より平均寿命は延伸した結果となりました。

人生100年時代を生き生きと! 「ライフ100BOOK」



「ライフ100BOOK」は、老後の生活も含めたこれからの見通しや、毎日の中でできるちょっとしたことのリストを掲載しています。住み慣れた場所で「わたしらしく生きるため、毎日の中でできること」を少しずつ始めませんか。

【配布場所】

区役所2階34番窓口、区内地域ケアプラザ

青葉区HPIにも掲載しています⇒



年少人口 横浜市内第2位



青葉区では年少人口(15歳未満)が36,735名と多く、横浜市内第2位となっています。また、市立小学校が30校、市立中学校が13校と多く設置され、学校数は横浜市内第1位(令和6年度市立学校現況より)を誇ります。

大学も國學院大學、星槎大学、玉川大学、桐蔭横浜大学、日本体育大学、横浜美術大学の6つが区内にキャンパスを有しており、その数は市内第1位です。

そのほか、認可保育所数(64か所)が市内第4位、幼稚園数(18か所)が市内第3位、教育、学習支援事業所数が市内第1位など、教育環境が充実していることも青葉区の魅力です。

ご活用ください! 市立保育所の 育児支援事業

園庭の無料開放や、保育士とお話ができる育児相談等はもちろん、Instagramによる発信や、子育て支援イベントAonicoひろばを開催しています。ぜひご活用ください!



詳細はこちら

犬の登録頭数 横浜市内第1位



青葉区の犬の登録頭数は15,408頭(令和5年度末)で、横浜市内では第1位となっています。登録頭数は、コロナ禍で一時的に増加しましたが、平成26年度の16,691頭をピークに、減少傾向が続いています。

青葉区犬種ランキング (雑種を除く、令和5年度生まれ)



※資料: 青葉区生活衛生課

青葉区名前ランキング (令和5年度生まれ)

名前	頭数
1位 ココ	18
2位 ムギ	13
3位 マロン	11
3位 モモ	11
3位 ノア	11
6位 テン	9

※資料: 青葉区生活衛生課

青葉区の主なデータ指標

横浜市18区で比較できる指標の一覧です。青葉区の順位がわかります。それぞれの指標や順位を見比べると、「平均寿命は長い、高齢化率は比較的低い」といった青葉区の特徴がさらによく分かってくると思います。



青葉区の主な指標のデータについて、横浜市内の他区と比較したものです。

項目	単位	青葉区	横浜市	18区中の順位	18区のベスト3	データ基準日(年度)
1 行政区の面積	km ²	35.06	435.96	2	1.戸塚区 2.青葉区 3.旭区	令和5年7月5日
2 人口	人	308,085	3,771,063	2	1.港北区 2.青葉区 3.鶴見区	令和6年10月1日
3 世帯数	世帯	136,717	1,817,762	3	1.港北区 2.鶴見区 3.青葉区	令和6年10月1日
4 1世帯あたり人員	人	2.25	2.07	3	1.都筑区 2.泉区 3.青葉区	令和6年10月1日
5 人口密度	人/km ²	8,747	8,605	8	1.南区 2.西区 3.港北区	令和6年10月1日
6 市外からの転入者	人	12,742	149,213	3	1.港北区 2.鶴見区 3.青葉区	令和5年(1月~12月)
7 市外への転出者	人	13,200	133,972	3	1.港北区 2.鶴見区 3.青葉区	令和5年(1月~12月)
8 出生児数	人	1,798	22,954	3	1.港北区 2.戸塚区 3.青葉区・鶴見区	令和5年(1月~12月)
9 昼夜間人口比率	%	76.6	91.1	16	1.西区 2.中区 3.金沢区	令和2年国勢調査
10 区民の通勤先(通学も含む)のうち東京都の占める割合	%	39.2	24.3	1	1.青葉区 2.港北区 3.鶴見区	令和2年国勢調査
11 帰国児童数[横浜市立小学校]	人	64	307	1	1.青葉区 2.都筑区 3.港北区	令和5年度
12 平均年齢	歳	46.6	47.1	6 (若い順)	1.都筑区 2.港北区 3.西区	令和6年9月30日
13 年少人口[15歳未満]	人	36,735	419,779	2	1.港北区 2.青葉区 3.鶴見区	令和6年9月30日
14 年少人口比率[15歳未満]	%	12.0	11.2	3	1.都筑区 2.戸塚区 3.港北区	令和6年9月30日
15 生産年齢人口[15歳~64歳]	人	198,405	2,392,949	2	1.港北区 2.青葉区 3.鶴見区	令和6年9月30日
16 生産年齢人口比率[15歳~64歳]	%	64.6	63.7	7	1.西区 2.港北区 3.都筑区	令和6年9月30日
17 老年人口[65歳以上]	人	71,955	941,316	4	1.戸塚区 2.旭区 3.港北区	令和6年9月30日
18 老年人口比率[65歳以上]=高齢化率	%	23.4	25.1	13	1.金沢区 2.栄区 3.旭区	令和6年9月30日
19 1人暮らし高齢者数[65歳以上]	人	11,848	194,694	9	1.鶴見区 2.南区 3.港北区	令和2年国勢調査
20 平均寿命(男性)	歳	83.9	82.3	1	1.青葉区 2.都筑区 3.金沢区・港北区	令和2年市区町村別生命表
21 平均寿命(女性)	歳	88.8	88.1	1	1.青葉区 2.都筑区 3.戸塚区	令和2年市区町村別生命表
22 医療機関数(病院・一般診療所)	か所	297	3,270	2	1.港北区 2.青葉区 3.中区	令和3年10月1日
23 有料老人ホーム(施設数)	か所	45	358	1	1.青葉区 2.戸塚区・鶴見区 3.港北区	令和7年1月1日
24 有料老人ホーム(定員)	人	2,892	22,191	1	1.青葉区 2.都筑区 3.保土ヶ谷区	令和7年1月1日
25 事業所数(全産業)	事業所	7,735	117,684	7	1.中区 2.港北区 3.鶴見区	令和3年6月1日
26 事業所数(卸売・小売業)	事業所	1,669	25,089	7	1.中区 2.港北区 3.西区	令和3年6月1日
27 製造業事業所数[従業者4人以上]	事業所	45	2,214	14	1.港北区 2.都筑区 3.鶴見区	令和2年6月1日
28 納税者1人あたり個人住民税額[市民税・県民税]	円	356,085	265,144	1	1.青葉区 2.中区 3.西区	令和5年度

青葉区の主なデータ指標



項目	単位	青葉区	横浜市	18区中の順位	18区のベスト3	データ基準日(年度)
29 人口に対する被生活保護人員割合	%	0.81	1.83	2 (少ない順)	1.都筑区 2.青葉区 3.港北区	令和6年4月
30 世帯に対する被生活保護世帯割合	%	1.47	3.09	2 (少ない順)	1.都筑区 2.青葉区 3.港北区	令和6年4月
31 乗用車の保有台数(事業所含む)	台	87,475	912,578	1	1.青葉区 2.港北区 3.戸塚区	令和6年3月31日
32 自治会町内会加入率	%	67.5	66.7	11	1.金沢区 2.栄区 3.旭区	令和6年4月1日
33 1人1日あたり燃やすごみの排出量	g	377	373	10 (少ない順)	1.港北区 2.西区 3.神奈川区	令和5年度
34 年間火災発生件数	件	38	733	8 (多い順)	1.中区 2.港北区 3.鶴見区	令和5年(1月~12月)
35 都市計画区域における市街化調整区域割合	%	25.9	22.6	8 (多い順)	1.泉区 2.緑区 3.旭区	令和6年3月31日
36 経営耕地のある農家数	戸	392	3,030	2	1.都筑区 2.青葉区 3.泉区	令和2年2月1日
37 経営耕地のある農家の経営耕地面積	a	16,823	167,451	4	1.泉区 2.都筑区 3.緑区	令和2年2月1日
38 田の経営耕地面積[農業経営体]	a	3,199	10,945	1	1.青葉区 2.緑区 3.戸塚区	令和2年2月1日
39 樹園地のある農業経営体数	経営体	64	496	3	1.緑区 2.泉区 3.青葉区	令和2年2月1日
40 土地区画整理事業の完了地区数	地区	40	141	1	1.青葉区 2.緑区 3.泉区	令和5年4月
41 土地区画整理事業の完了地区面積	ha	2275.9	6943.8	1	1.青葉区 2.都筑区 3.緑区	令和5年4月
42 建築協定数	件	47	167	1	1.青葉区 2.金沢区 3.戸塚区	令和6年9月
43 公園数	か所	235	2,728	1	1.青葉区 2.戸塚区 3.金沢区	令和6年3月31日
44 道路[総延長]	km	741	7,876	1	1.青葉区 2.戸塚区 3.旭区	令和6年4月1日
45 道路[総面積]	km ²	5.9	58.8	1	1.青葉区 2.都筑区 3.金沢区	令和6年4月1日
46 道路率[道路面積/行政区面積]	%	16.8	13.5	3	1.西区 2.都筑区 3.青葉区	令和6年4月1日
47 街路樹数[歩道並木]	本	15,321	86,453	1	1.青葉区 2.都筑区 3.金沢区	令和5年3月31日
48 緑被率	%	28.8	27.8	10 (高い順)	1.緑区 2.栄区 3.泉区	令和元年度
49 犬の登録数	頭	15,408	164,047	1	1.青葉区 2.港北区 3.鶴見区	令和6年3月31日
50 海外で国政選挙ができる有権者数	人	583	4,695	1	1.青葉区 2.港北区 3.鶴見区	令和5年9月1日
51 国政選挙の投票率(衆議院選挙)	%	60.35	55.49	1	1.青葉区 2.都筑区 3.栄区	令和6年10月31日
52 18歳・19歳の投票率(衆議院選挙)	%	53.49	47.16	1	1.青葉区 2.港北区 3.栄区	令和3年10月31日
53 国政選挙の投票率(参議院選挙)	%	58.87	55.36	1	1.青葉区 2.栄区 3.金沢区	令和4年7月10日
54 地方選挙の投票率(統一地方選挙)	%	43.72	42.83	6	1.栄区 2.金沢区 3.港南区	令和5年4月9日
55 地方選挙の投票率(市長選挙)	%	50.67	49.05	5	1.栄区 2.金沢区 3.港南区	令和3年8月22日

※本編のデータについては、年度ごとの比較等のため、異なるデータが掲載されていることがあります。

① 位置・地勢・まち

青葉区は市の北西部に位置し、面積は市内で2番目の大きさです。現在も田園風景が広がる自然豊かな場所ですが、区内には先土器時代の「受地だいやま遺跡」や、古墳時代の「稲荷前古墳群」など、昔からの人の営みの痕跡があり、昔から自然が豊かだったのかもしれない。

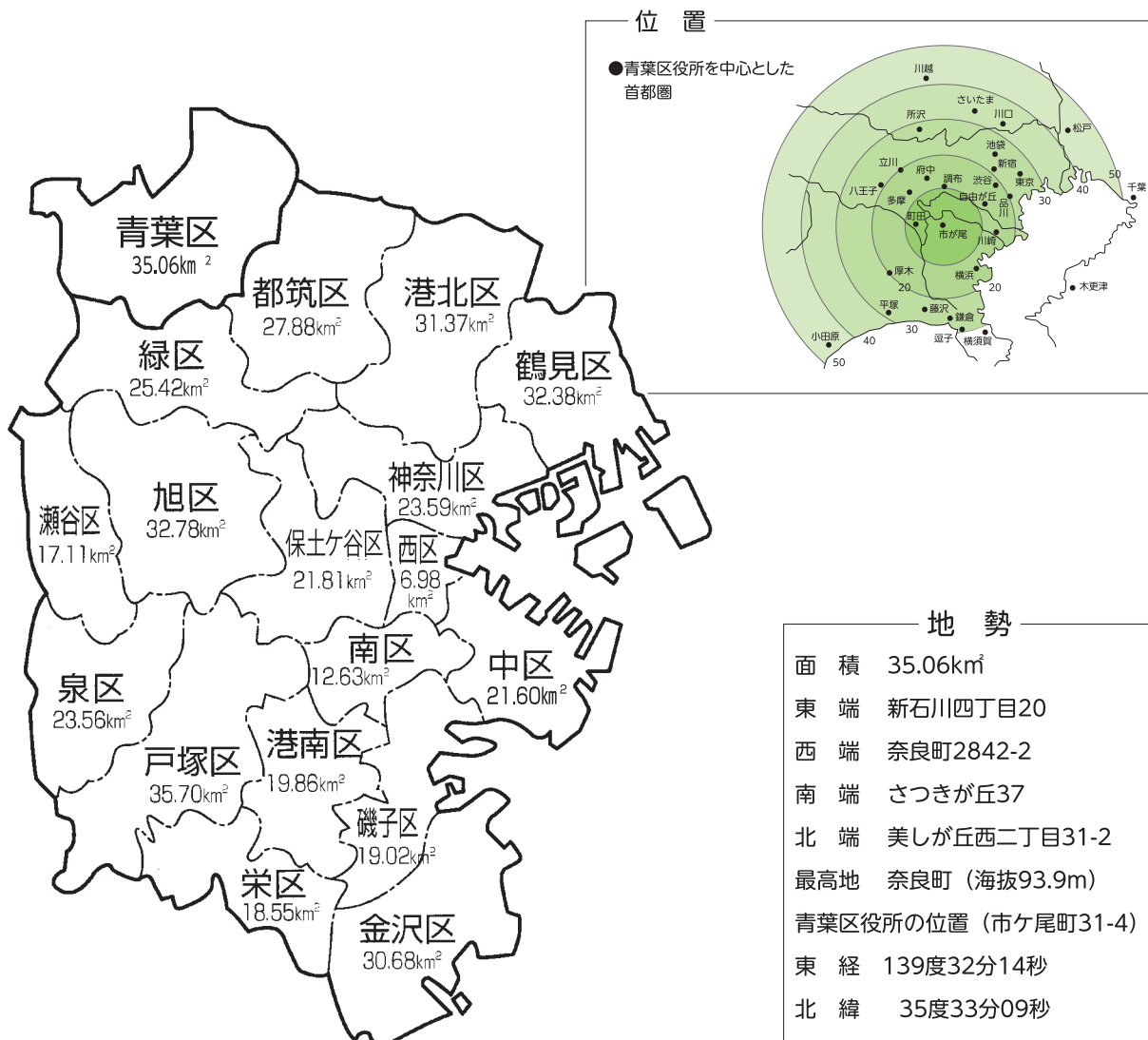


(1) 位置・地勢

青葉区は、平成6年11月6日に、行政区再編成を経て、港北区や緑区の一部から誕生した区です。面積は、35.06km²で、市内では、戸塚区に次いで2番目の広さとなっています。

位置的には、横浜市の北西部にあり、東は都筑区、西は町田市、南は緑区、北は川崎市に接しています。

地形的には「丘の横浜」と呼ばれるとおり、丘陵が多く、また、区の中央部を鶴見川が流れており、これに沿って豊かな田園風景が広がる自然豊かな場所であるという特色があります。



資料:区制施行後における行政区の区域面積の変遷(令和5年7月5日)

1 位置・地勢・まち

青葉区の区名は木々に囲まれた美しい街のイメージを表現していますが、区内の町名も、植物の名にちなんだものが多いです。青葉区のホームページでは、全ての町について、町名の遍歴・由来をご紹介します。

ぜひ と検索してみてください。



(2)まち

青葉区が誕生したときには、町は73でしたが、その後の土地区画整理により、現在では79となっています。その中に、161の自治会と15の連合があります。ちなみに町名は、植物の名にちなんだ町名が多いのが特徴です。



● 地区連合自治会・町内会

名	称
①	中里連合自治会
②	中里北部連合町内会
③	市ヶ尾連合自治会
④	上谷本連合町内会
⑤	谷本連合自治会
⑥	恩田連合自治会
⑦	青葉台連合自治会
⑧	奈良町連合自治会
⑨	奈良北団地連合自治会
⑩	山内連合自治会
⑪	荏田連合自治会
⑫	荏田西連合自治会
⑬	新荏田連合自治会
⑭	すすき野連合自治会
⑮	美しが丘連合自治会

青葉区自治会・町内会加入世帯数・加入率の推移(各年4月1日現在)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
区内世帯数	130,286	134,385	134,562	136,531	136,108
自治会・町内会加入世帯数	93,008	92,548	92,898	92,206	91,854
自治会・町内会加入率	71.4%	68.9%	69.0%	68.0%	67.5%

※資料:青葉区地域振興課

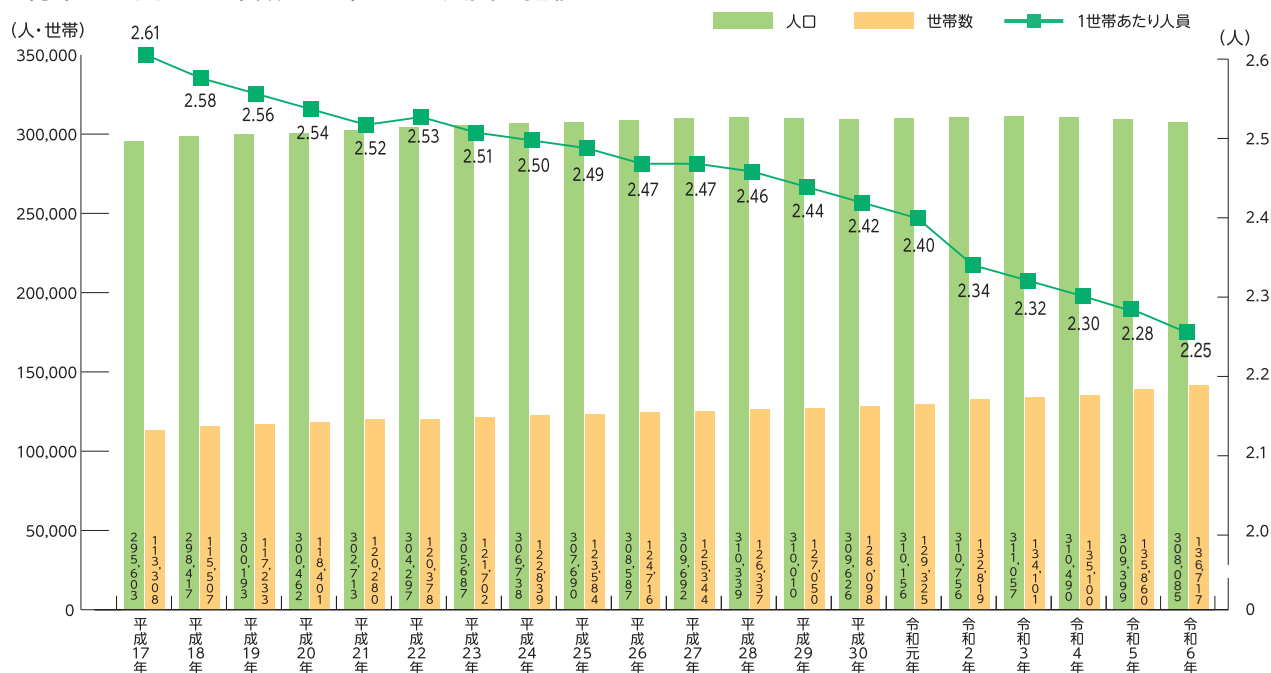
② 人口・世帯

青葉区が誕生した平成6年12月時点の人口・世帯数は、246,705人、92,402世帯でした。平成19年5月には人口30万人に達し、その後も増加傾向にありましたが、令和3年をピークに人口は減少しています。一方で、世帯数については、単独世帯の増加に伴い、引き続き増加傾向がみられます。



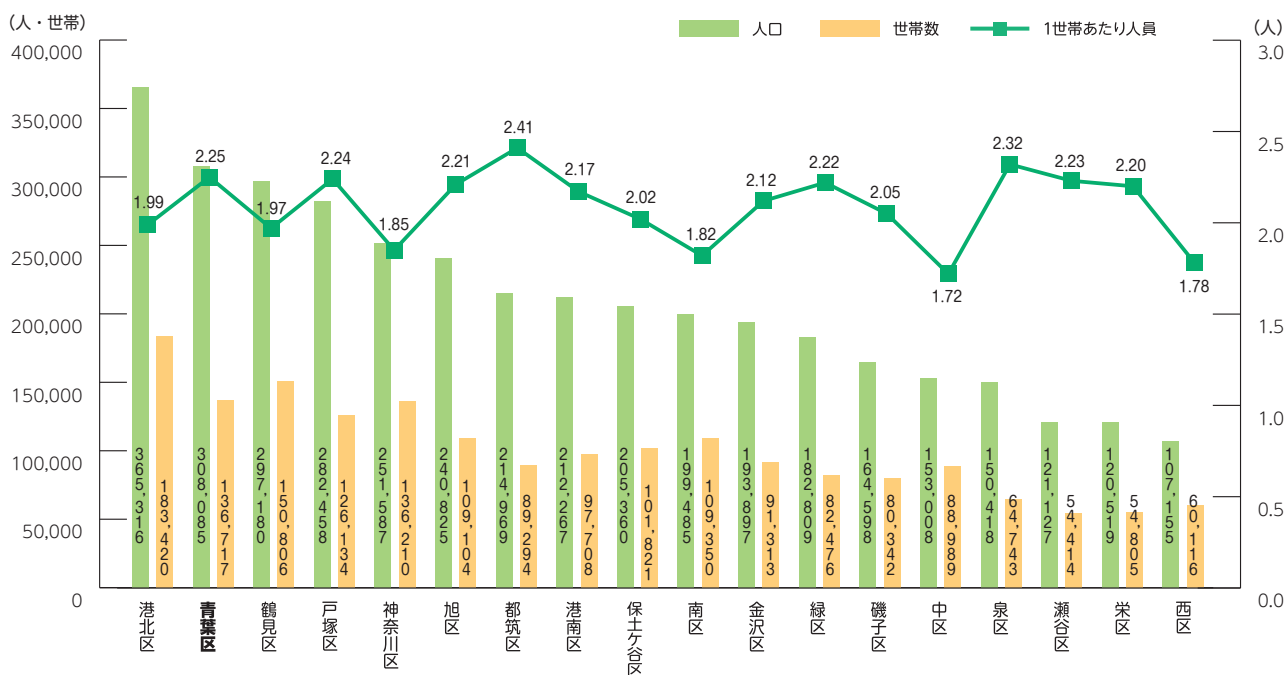
(1) 人口・世帯数の増減

●青葉区の人口・世帯数・1世帯あたり人員の推移



※資料：人口ニュース（各年10月1日現在）

●18区の人口・世帯数・1世帯あたり人員の現状



※資料：人口ニュース（令和6年10月1日現在）

② 人口・世帯

自然増加数(出生数-死亡数)は減少傾向が続いており、令和元年以降は死亡数が出生数を上回っているため、マイナスの状況が続いています。



(2)人口動態

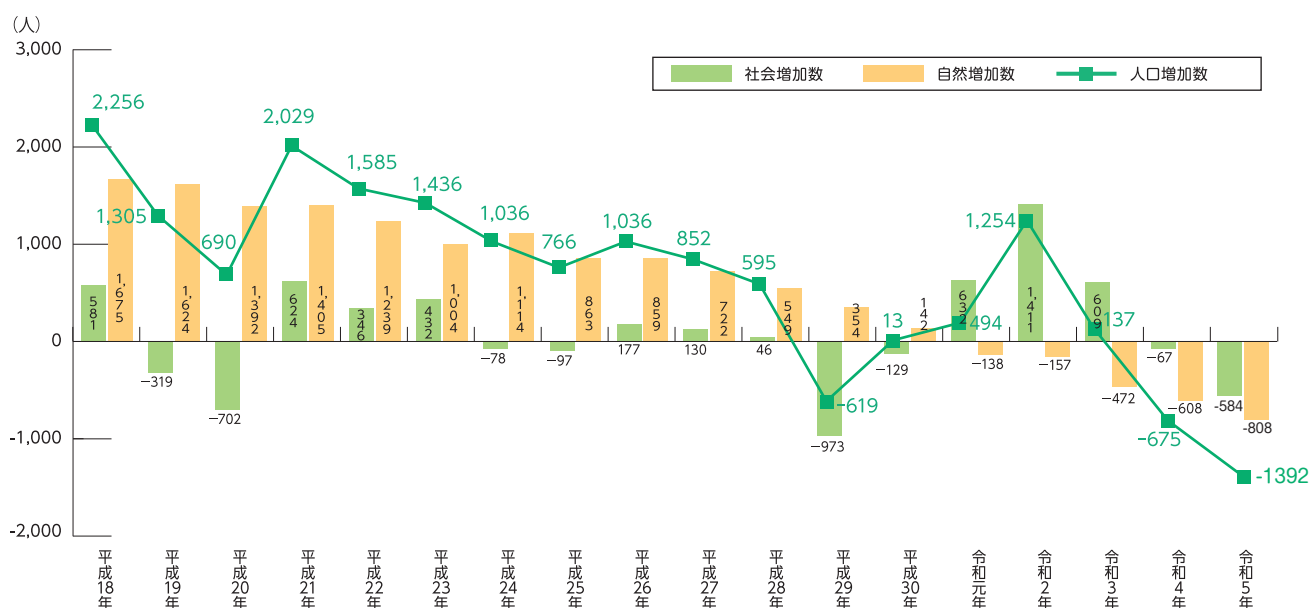
人口動態とは、一定期間における転入、転出及びその他の増減に伴う人口の動きである「社会動態」と、一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きである「自然動態」を合わせたものです。

▶ **人口増加数**=社会増加数+自然増加数 ▶ **社会増加数**=転入数-転出数+その他増減

▶ **自然増加数**=出生数-死亡数

※その他増減とは、外国人の帰化による増、国籍喪失による減などをいいます。

●青葉区の人口増加数の推移



※資料：横浜市の人口 - 令和5年中の人口動態と令和6年1月1日現在の年齢別人口 -

●人口データについて

最新の人口データは、横浜市の「統計情報ポータル」からご覧になれます。「統計情報ポータル」では、人口や世帯数のほかにも、さまざまな分野の統計情報を掲載しています。

なお、人口には「推計人口」と「住民基本台帳による人口」の2種類があります。

[横浜市の統計](#) [検索](#)

(1) 推計人口

「推計人口」は、直近の国勢調査の結果をもとに、毎月の出生・死亡・転入・転出等を加減し、毎月1日現在で算出したものです。

住民基本台帳の登録とは関係なく、実際に住んでいる人を対象としています。

(2) 住民基本台帳による人口

「住民基本台帳による人口」は、各市町村に備え付けてある住民基本台帳に記録されている住民の数を、毎月末日現在で算出したものです。

横浜市に住民票がある人を対象としています。

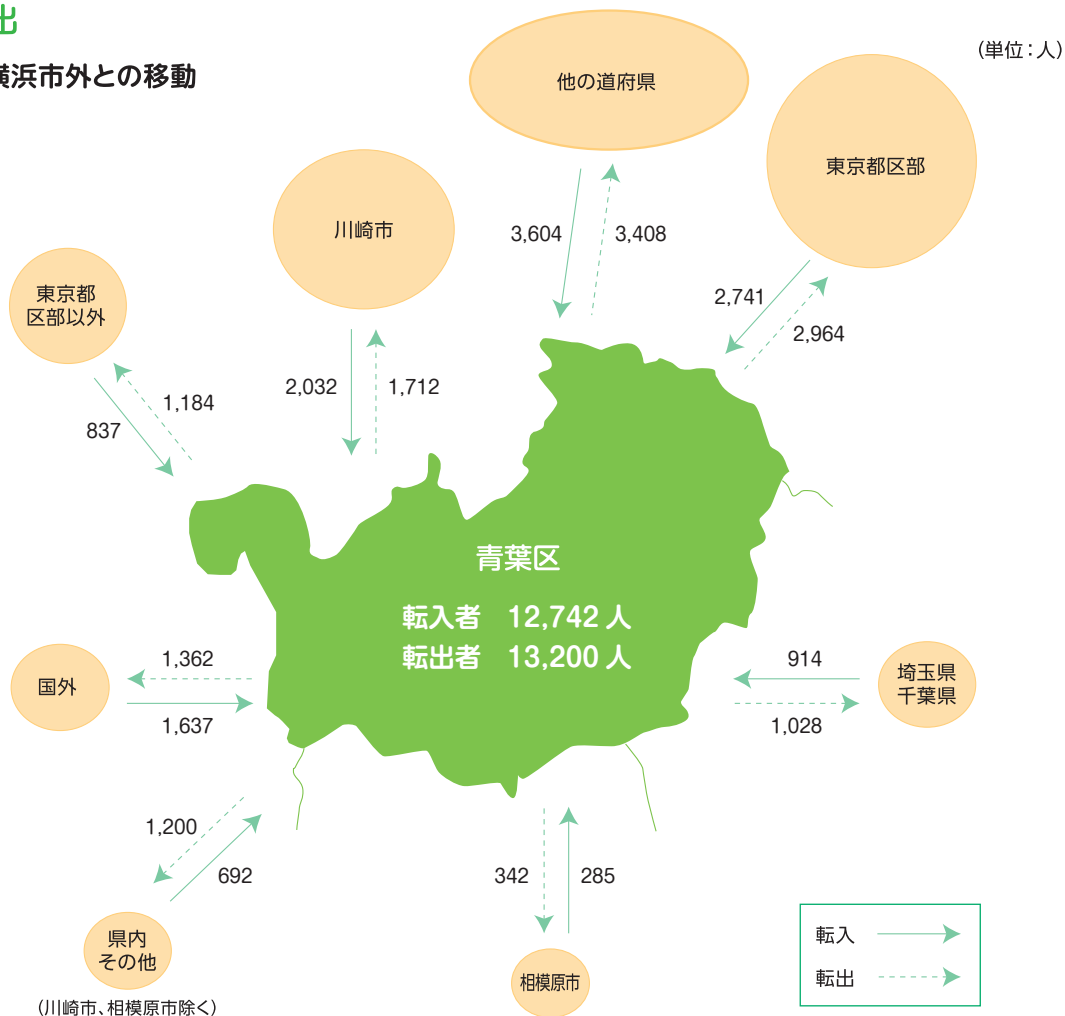
② 人口・世帯

青葉区に転入された方の転入前の住所地や、青葉区から転出された方の転出後の住所地について分析すると、市外では東京都区部や川崎市、市内では都筑区や緑区との転入・転出が多いことが分かります。



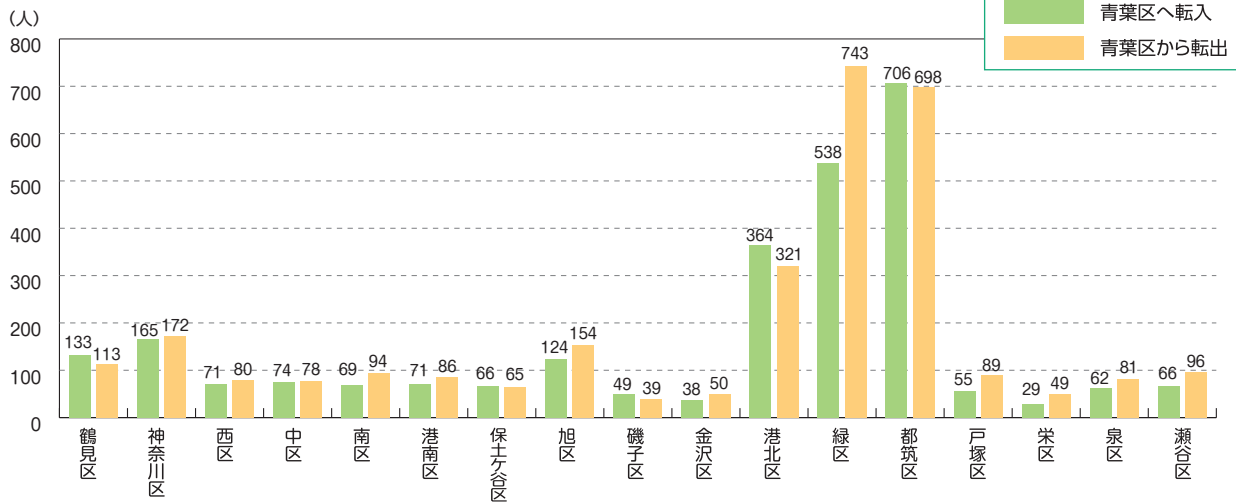
(3) 転入、転出

● 青葉区と横浜市外との移動



※資料：横浜市の人口 - 令和5年中の人口動態と令和6年1月1日現在の年齢別人口 -
 ※「他の道府県」には地域不詳を含む

● 青葉区と他区との移動



※資料：横浜市の人口 - 令和5年中の人口動態と令和6年1月1日現在の年齢別人口 -

② 人口・世帯

青葉区は昼夜間人口比率が市内で3番目に低い割合となっており、昼間は区外に通勤・通学されている方の割合が多いことが分かります。また、青葉区では、横浜市全体と比べて、東京都に通勤・通学されている方の割合が高くなっています。



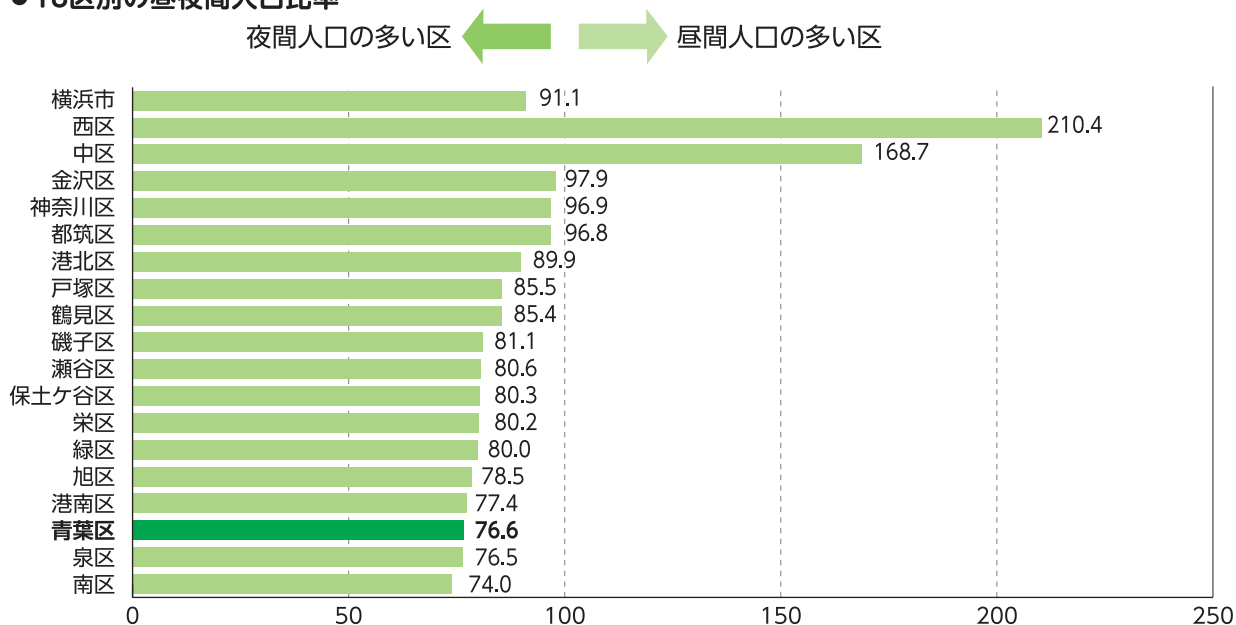
(4) 昼夜間人口

昼夜間人口比率とは、夜間(常住)人口に対する昼間人口の割合です。

昼夜間人口比率が100を下回る場合は、流入人口よりも流出人口の方が多く、通勤・通学のために人がその地域から外に出かけていくことを示します。

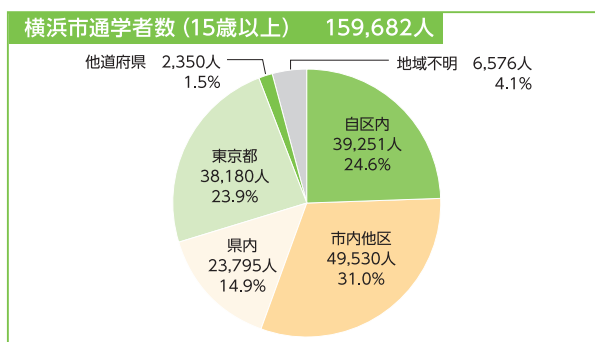
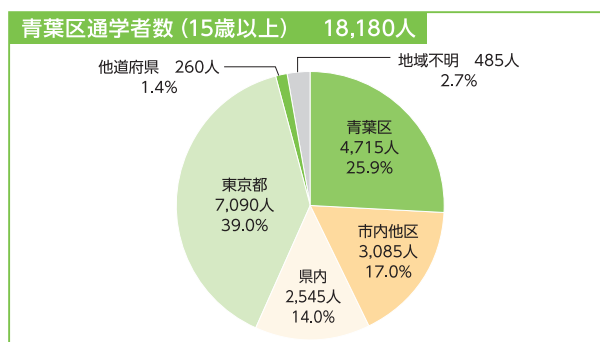
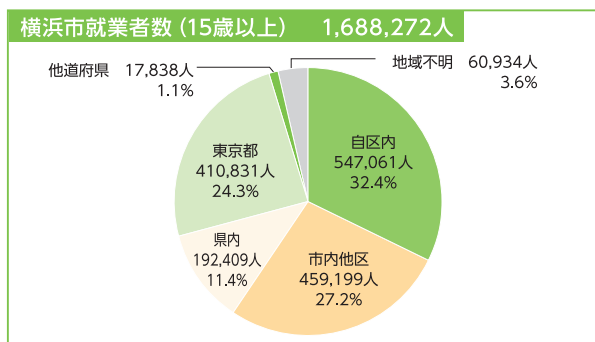
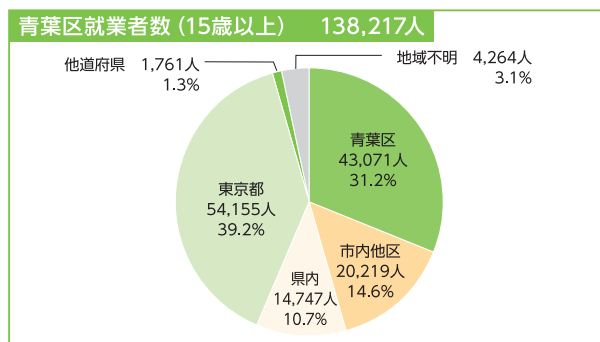
昼間人口の算出には、旅行、買物、娯楽などのための非定常的な移動は含まれません。

● 18区別の昼夜間人口比率



※資料：国勢調査(令和2年10月1日現在)

● 青葉区と横浜市の就業地・通学地の割合



※資料：国勢調査(令和2年10月1日現在)

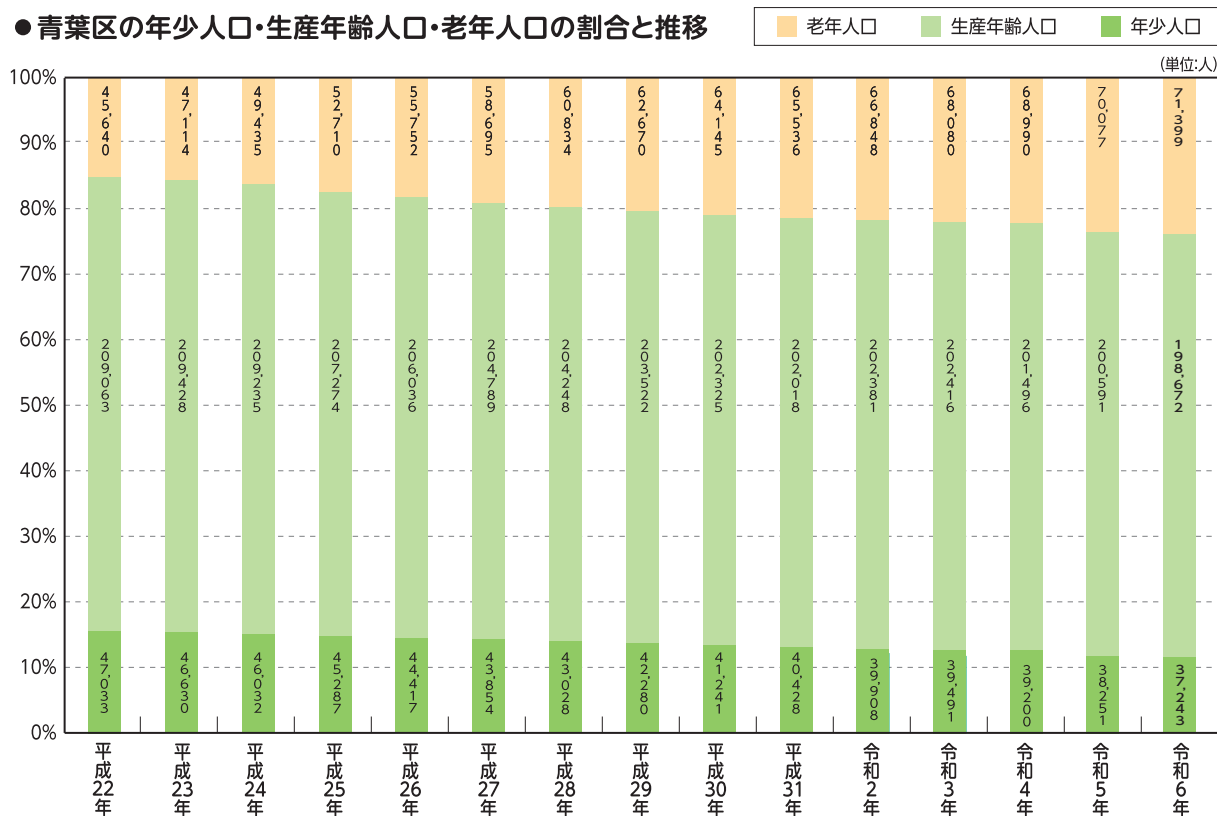
② 人口・世帯

青葉区の人口を年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)、老年人口(65歳以上)の3区分に分けてみると、年少人口と生産年齢人口は減少傾向が続いている一方で、老年人口は増加傾向が続いています。また、高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合)についても、増加し続けています。



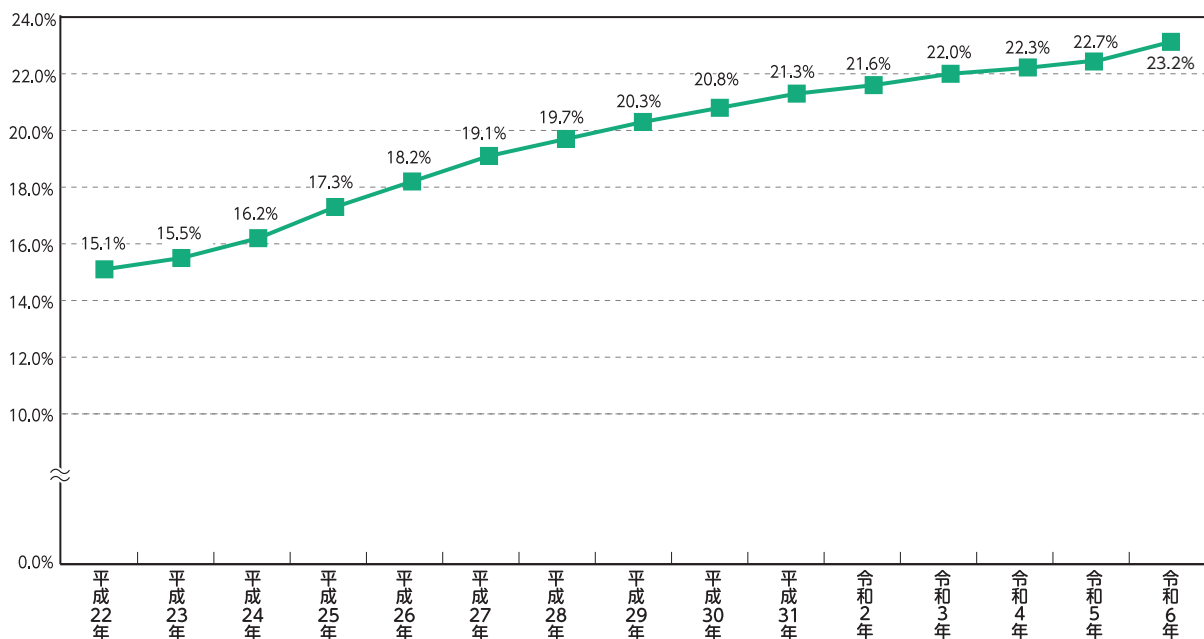
(5) 年齢3区分別人口の推移

● 青葉区の年少人口・生産年齢人口・老年人口の割合と推移



※資料：横浜市町別・年齢人口（各年とも、3月31日現在）

● 青葉区の高齢化率の推移



※資料：横浜市町別・年齢人口（各年とも、3月31日現在）

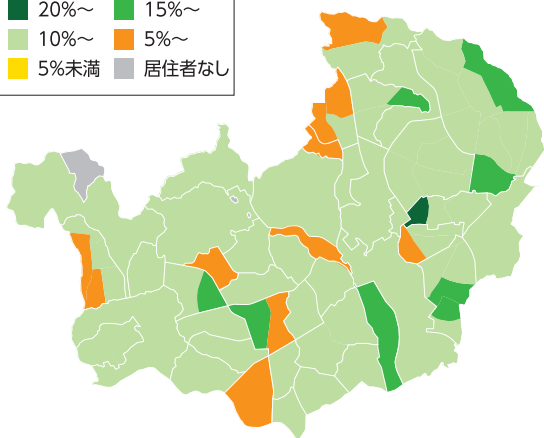
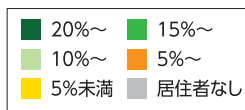
2 人口・世帯

青葉区の年少人口(0~14歳)・生産年齢人口(15~64歳)は、ともに港北区に次いで市内で2番目に多く、老年人口(65歳以上)は、戸塚区に次いで市内で2番目に多くなっています。

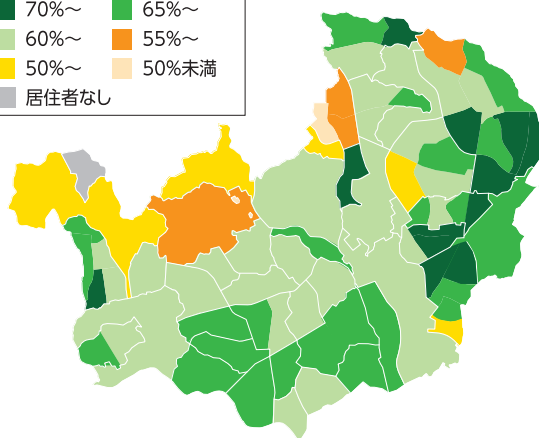
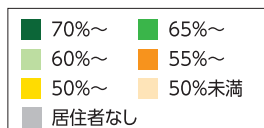


(6) 町丁別の年齢3区分別人口比率 ※令和6年3月31日現在

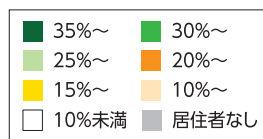
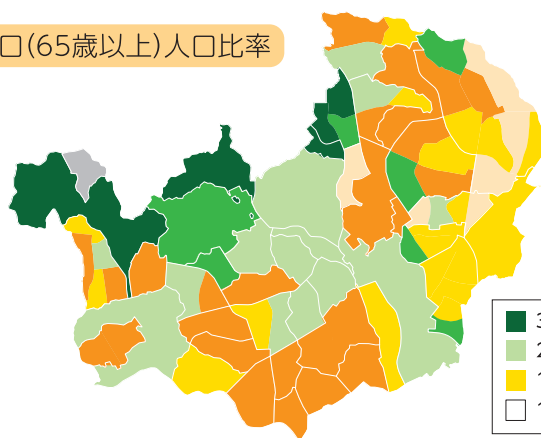
年少人口(15歳未満)人口比率



生産年齢人口(15~64歳)比率

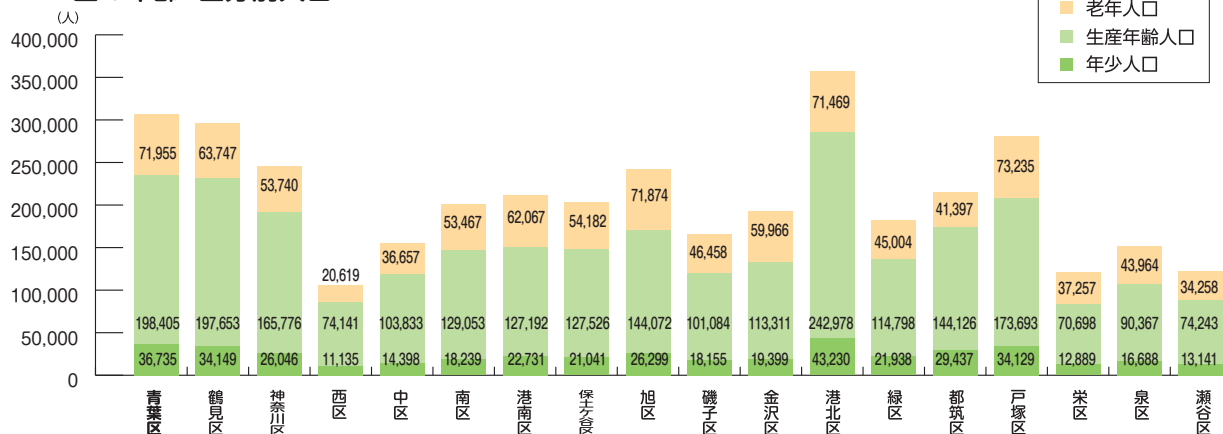


老年人口(65歳以上)人口比率



(7) 18区別の年齢3区分別人口

● 18区の年齢3区分別人口



※資料：横浜市・各区別 年齢別男女別人口（令和6年9月30日現在）

② 人口・世帯

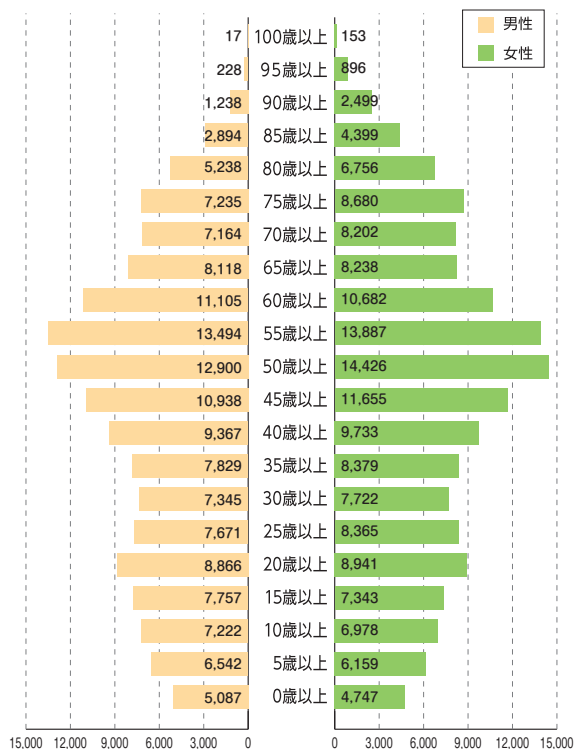
青葉区の平均年齢は46.6歳となっており、市内で6番目に若いです。
 また、平均寿命は全国でも高い水準で、男性が83.9歳で全国第2位、女性が88.8歳で全国第13位となっています。
 青葉区も横浜市も、人口の中心は50歳～54歳となっています。
 また、横浜市全体に比べて、青葉区は55歳～59歳の比率が高くなっています。



(8)人口ピラミッド

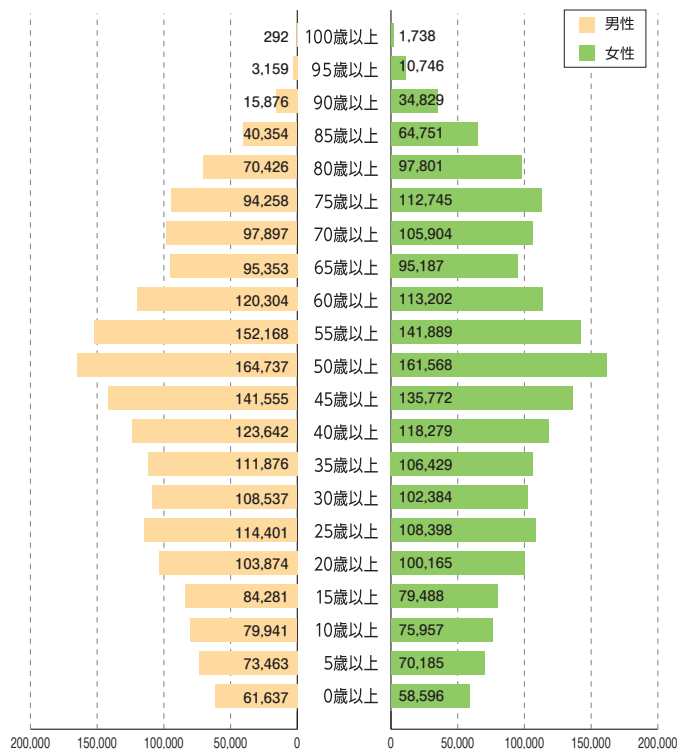
●青葉区の人口ピラミッド

(単位:人)



●横浜市の人口ピラミッド

(単位:人)



※資料:横浜市・各区別 年齢別男女別人口(令和6年9月30日現在)

(9)平均年齢

(単位:歳)

順位	区名	平均年齢	順位	区名	平均年齢	順位	区名	平均年齢	
1位	都筑区	44.3	7位	緑区	46.7	13位	磯子区	48.6	
2位	港北区	44.4	8位	戸塚区	47.3	14位	泉区	49.0	
3位	西区	44.8	9位	中区	47.8	15位	港南区	49.3	
4位	鶴見区	45.2	10位	保土ヶ谷区	48.0	16位	旭区	49.3	
5位	神奈川区	45.5	11位	南区	48.2	17位	栄区	49.9	
6位	青葉区	46.6	12位	瀬谷区	48.6	18位	金沢区	50.0	
								横浜市	47.1

※資料:横浜市・各区別 年齢別男女別人口(令和6年9月30日現在)

(10)平均寿命の推移

	男性		女性	
	平均寿命(歳)	全国での順位	平均寿命(歳)	全国での順位
平成22年	81.9	8位	88.0	20位
平成27年	83.3	1位	88.5	9位
令和2年	83.9	2位	88.8	13位

※資料:市区町村別生命表

2 人口・世帯

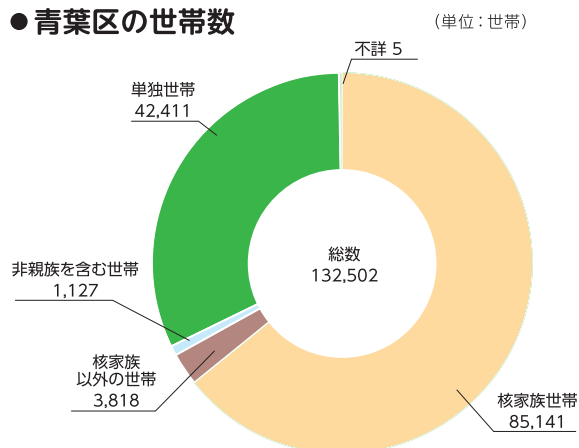
横浜市全体と比較して、青葉区は核家族世帯の割合が多く、単独世帯の割合が少なくなっています。

また、青葉区の単独世帯のうち、65歳以上の高齢者単身世帯の割合は27.9%と、前回(平成27年国勢調査)より上昇しています。

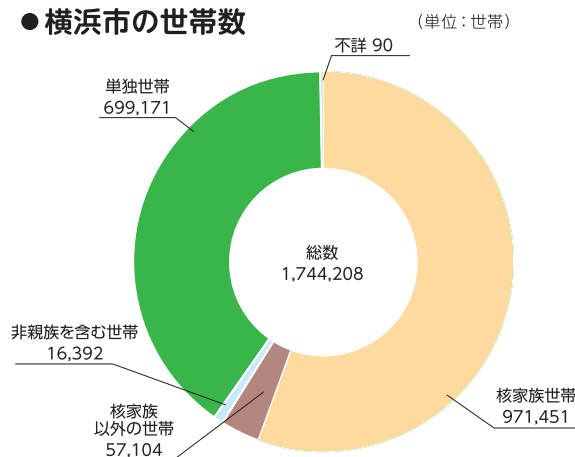


(11) 世帯類型

● 青葉区の世帯数

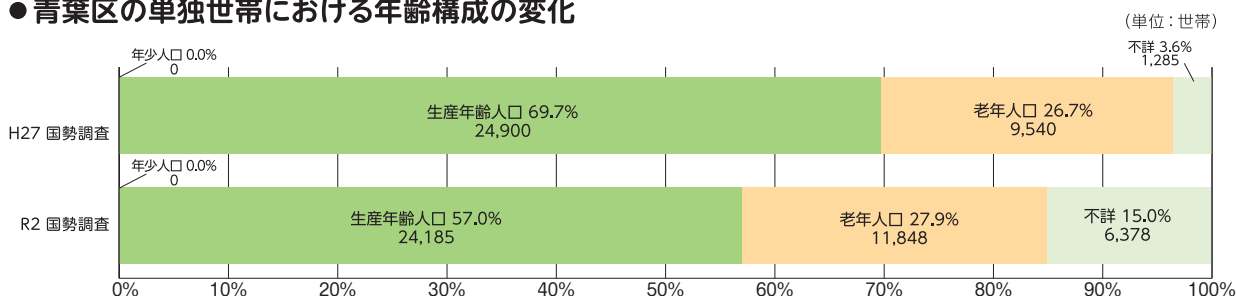


● 横浜市の世帯数

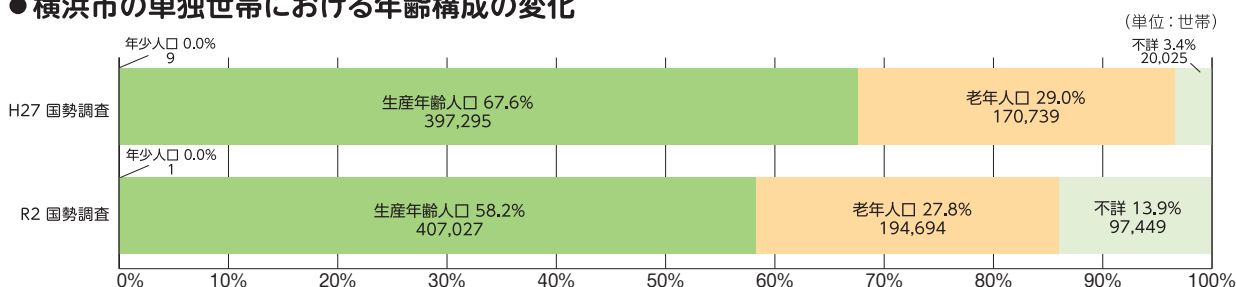


※世帯数は、寄宿舍や寮、施設、病院、老人ホームなどに入院・入所している世帯を除いたものです。
※資料: 令和2年 国勢調査

● 青葉区の単独世帯における年齢構成の変化



● 横浜市の単独世帯における年齢構成の変化



② 人口・世帯

あなたの住んでいる町の詳しいデータです。青葉区で人口総数が最も多い町は、18,951人で市ヶ尾町です。



(12) 青葉区の町丁別のデータ

(令和6年9月30日現在)

町名	人口			平均年齢	設置年月日
	年少人口	生産年齢人口	老年人口		
桂台一丁目	345	1,452	540	45.5	昭和57年1月10日
桂台二丁目	468	2,655	1,088	47.7	昭和57年1月10日
元石川町	413	1,900	706	46.0	昭和14年4月1日
美しが丘一丁目	668	3,290	1,308	47.5	昭和44年1月15日
美しが丘二丁目	1,253	5,200	1,073	41.6	昭和44年1月15日
美しが丘三丁目	377	1,618	886	49.5	昭和44年1月15日
美しが丘四丁目	783	3,763	1,321	45.7	昭和47年7月26日
美しが丘五丁目	677	3,754	862	43.3	昭和47年7月26日
荇田町	1,239	7,249	2,110	45.2	昭和14年4月1日
荇田北一丁目	263	1,452	349	44.0	昭和53年4月29日
荇田北二丁目	142	927	464	49.9	昭和53年4月29日
荇田北三丁目	219	1,280	327	44.4	昭和53年4月29日
荇田西一丁目	348	1,775	399	43.6	昭和58年9月11日
荇田西二丁目	453	2,583	644	44.7	昭和58年9月11日
荇田西三丁目	424	1,879	537	44.1	昭和58年9月11日
荇田西四丁目	312	1,170	286	41.2	昭和58年9月25日
荇田西五丁目	180	782	505	50.1	昭和58年9月25日
荇子田一丁目	212	910	215	42.6	昭和59年4月29日
荇子田二丁目	367	2,243	910	48.2	昭和59年4月29日
荇子田三丁目	295	1,285	472	45.5	昭和59年4月29日
市ヶ尾町	2,058	12,164	4,729	47.4	昭和14年4月1日
下谷本町	17	65	15	38.6	昭和14年4月1日
藤が丘一丁目	903	5,072	1,657	45.8	昭和41年11月6日
藤が丘二丁目	842	5,397	1,702	46.5	昭和41年11月6日
梅が丘	623	3,416	1,257	46.6	昭和41年11月6日
千草台	770	4,497	1,413	45.5	昭和43年8月6日
つつじが丘	664	3,757	1,238	46.3	昭和39年3月31日
しらとり台	738	5,156	1,675	46.5	昭和42年11月16日
恩田町	345	1,933	785	47.1	昭和14年4月1日
櫻が丘	745	3,888	1,208	45.0	昭和42年5月5日
松風台	763	4,019	1,390	46.3	昭和42年5月5日
桜台	806	3,942	1,568	47.4	昭和42年5月5日
青葉台一丁目	378	2,490	1,176	49.5	昭和42年5月5日
青葉台二丁目	835	3,689	799	41.9	昭和42年5月5日
若草台	307	1,920	970	50.1	昭和46年1月26日
田奈町	513	3,361	956	45.0	昭和46年3月26日
奈良町	885	4,543	3,104	52.8	昭和14年4月1日
奈良一丁目	87	470	190	47.2	平成8年9月30日
奈良二丁目	219	1,112	394	45.3	平成8年9月30日
奈良三丁目	231	1,922	499	47.1	平成8年9月30日
奈良四丁目	196	1,756	624	50.5	平成8年9月30日
奈良五丁目	282	1,499	436	45.4	平成8年9月30日

町名	人口			平均年齢	設置年月日
	年少人口	生産年齢人口	老年人口		
緑山	0	0	0	0.0	昭和53年2月1日
上谷本町	6	78	32	49.9	昭和14年4月1日
もえぎ野	398	2,314	987	48.2	昭和46年1月15日
柿の木台	535	3,076	1,446	49.1	昭和49年9月26日
みたけ台	628	2,937	1,258	47.3	昭和50年9月28日
成合町	0	7	38	76.3	昭和14年4月1日
たちばな台一丁目	323	1,820	782	49.0	昭和46年1月26日
たちばな台二丁目	335	1,894	850	48.6	昭和46年1月26日
鴨志田町	877	4,596	2,754	49.8	昭和14年4月1日
寺家町	48	177	126	50.6	昭和14年4月1日
鉄町	319	1,551	702	48.2	昭和14年4月1日
大場町	1,156	5,981	2,259	47.0	昭和14年4月1日
さつきが丘	506	2,316	758	44.5	昭和45年2月26日
もみの木台	187	1,027	687	52.7	昭和48年10月26日
すすき野一丁目	240	1,364	688	49.5	昭和48年10月26日
すすき野二丁目	167	1,226	1,268	58.3	昭和48年10月26日
すすき野三丁目	220	1,831	1,189	53.0	昭和48年10月26日
あざみ野一丁目	530	3,072	892	45.3	昭和51年1月15日
あざみ野二丁目	550	2,606	897	45.0	昭和51年1月15日
あざみ野三丁目	532	2,589	1,596	51.0	昭和51年1月15日
あざみ野四丁目	626	2,926	979	45.2	昭和51年1月15日
すみよし台	497	2,855	1,114	46.8	昭和51年7月16日
新石川一丁目	725	3,154	617	40.8	昭和54年2月18日
新石川二丁目	508	2,625	673	43.5	昭和54年2月18日
新石川三丁目	461	2,350	452	41.0	昭和54年2月18日
新石川四丁目	533	2,918	716	43.2	昭和54年2月18日
黒須田	414	2,229	464	42.5	平成元年7月16日
あかね台一丁目	334	1,878	702	46.7	平成2年2月18日
あかね台二丁目	235	1,581	471	45.8	平成2年2月18日
美しが丘西一丁目	281	1,515	321	43.9	平成元年11月5日
美しが丘西二丁目	380	2,835	985	47.9	平成元年11月5日
美しが丘西三丁目	501	2,965	1,236	49.1	平成元年11月5日
あざみ野南一丁目	244	1,319	215	41.5	平成4年9月6日
あざみ野南二丁目	224	1,143	275	42.7	平成4年9月6日
あざみ野南三丁目	117	625	292	49.1	平成4年9月6日
あざみ野南四丁目	312	1,056	174	39.1	平成4年9月6日
みすずが丘	141	734	273	46.5	平成7年3月16日
青葉区合計	36,735	198,405	71,955	46.6	平成6年11月6日

② 人口・世帯

(令和6年9月30日現在)

町名	面積 (km ²)	世帯数 (人)	人口(人)			1世帯あたり 人員(人)	人口密度 (人)
			総数	男	女		
桂台一丁目	0.217	992	2,337	1,122	1,215	2.36	10,770
桂台二丁目	0.398	1,820	4,211	2,075	2,136	2.31	10,580
元石川町	0.916	1,430	3,019	1,458	1,561	2.11	3,296
美しが丘一丁目	0.329	2,678	5,266	2,400	2,866	1.97	16,006
美しが丘二丁目	0.500	3,102	7,526	3,592	3,934	2.43	15,052
美しが丘三丁目	0.373	1,216	2,881	1,354	1,527	2.37	7,724
美しが丘四丁目	0.457	2,835	5,867	2,815	3,052	2.07	12,838
美しが丘五丁目	0.338	2,566	5,293	2,485	2,808	2.06	15,660
荻田町	1.122	5,030	10,598	5,199	5,399	2.11	9,446
荻田北一丁目	0.165	852	2,064	995	1,069	2.42	12,509
荻田北二丁目	0.178	805	1,533	756	777	1.90	8,612
荻田北三丁目	0.171	831	1,826	874	952	2.20	10,678
荻田西一丁目	0.245	1,225	2,522	1,290	1,232	2.06	10,294
荻田西二丁目	0.286	1,487	3,680	1,761	1,919	2.47	12,867
荻田西三丁目	0.213	1,113	2,840	1,366	1,474	2.55	13,333
荻田西四丁目	0.138	715	1,768	910	858	2.47	12,812
荻田西五丁目	0.158	592	1,467	695	772	2.48	9,285
荻子田一丁目	0.158	477	1,337	652	685	2.80	8,462
荻子田二丁目	0.347	1,414	3,520	1,685	1,835	2.49	10,144
荻子田三丁目	0.209	821	2,052	1,022	1,030	2.50	9,818
市ヶ尾町	2.007	9,597	18,951	8,941	10,010	1.97	9,442
下谷本町	0.641	50	97	49	48	1.94	151
藤が丘一丁目	0.534	3,853	7,632	3,722	3,910	1.98	14,292
藤が丘二丁目	0.469	3,877	7,941	3,713	4,228	2.05	16,932
梅が丘	0.441	2,417	5,296	2,593	2,703	2.19	12,009
千草台	0.482	3,261	6,680	3,300	3,380	2.05	13,859
つつじが丘	0.350	2,586	5,659	2,680	2,979	2.19	16,169
しらとり台	0.669	3,740	7,569	3,702	3,867	2.02	11,314
恩田町	1.630	1,509	3,063	1,562	1,501	2.03	1,879
榎が丘	0.465	2,742	5,841	2,778	3,063	2.13	12,561
松風台	0.482	2,519	6,172	3,017	3,155	2.45	12,805
桜台	0.512	2,822	6,316	2,975	3,341	2.24	12,336
青葉台一丁目	0.316	2,201	4,044	1,852	2,192	1.84	12,797
青葉台二丁目	0.318	2,400	5,323	2,502	2,821	2.22	16,739
若草台	0.285	1,426	3,197	1,514	1,683	2.24	11,218
田奈町	0.626	2,457	4,830	2,365	2,465	1.97	7,716
奈良町	2.187	4,339	8,532	4,140	4,392	1.97	3,901
奈良一丁目	0.146	346	747	364	383	2.16	5,116
奈良二丁目	0.183	708	1,725	869	856	2.44	9,426
奈良三丁目	0.167	1,058	2,652	1,284	1,368	2.51	15,880
奈良四丁目	0.210	1,068	2,576	1,238	1,338	2.41	12,267
奈良五丁目	0.169	910	2,217	1,090	1,127	2.44	13,118
緑山	0.289	0	0	0	0	0.00	0
上谷本町	0.306	61	116	67	49	1.90	379
もえぎ野	0.403	1,717	3,699	1,762	1,937	2.15	9,179
柿の木台	0.456	2,470	5,057	2,471	2,586	2.05	11,090
みたけ台	0.425	2,232	4,823	2,347	2,476	2.16	11,348
成合町	0.012	33	45	26	19	1.36	3,750
たちばな台一丁目	0.269	1,233	2,925	1,382	1,543	2.37	10,874
たちばな台二丁目	0.267	1,463	3,079	1,553	1,526	2.10	11,532
鴨志田町	1.612	3,867	8,227	4,143	4,084	2.13	5,104
寺家町	0.861	169	351	173	178	2.08	408
鉄町	1.707	1,189	2,572	1,280	1,292	2.16	1,507
大場町	1.024	3,764	9,396	4,492	4,904	2.50	9,176
さつきが丘	0.321	1,668	3,580	1,765	1,815	2.15	11,153
もみの木台	0.183	904	1,901	912	989	2.10	10,388
すすき野一丁目	0.199	977	2,292	1,071	1,221	2.35	11,518
すすき野二丁目	0.185	1,365	2,661	1,239	1,422	1.95	14,384
すすき野三丁目	0.258	1,706	3,240	1,499	1,741	1.90	12,558
あざみ野一丁目	0.402	2,183	4,494	2,116	2,378	2.06	11,179
あざみ野二丁目	0.377	1,950	4,053	1,981	2,072	2.08	10,751
あざみ野三丁目	0.404	2,063	4,717	2,181	2,536	2.29	11,676
あざみ野四丁目	0.395	1,913	4,531	2,222	2,309	2.37	11,471
すみよし台	0.426	2,036	4,466	2,231	2,235	2.19	10,484
新石川一丁目	0.358	2,061	4,496	2,142	2,354	2.18	12,559
新石川二丁目	0.313	1,832	3,806	1,791	2,015	2.08	12,160
新石川三丁目	0.361	1,543	3,263	1,607	1,656	2.11	9,039
新石川四丁目	0.255	1,960	4,167	2,071	2,096	2.13	16,341
黒須田	0.308	1,190	3,107	1,539	1,568	2.61	10,088
あかね台一丁目	0.305	1,215	2,914	1,451	1,463	2.40	9,554
あかね台二丁目	0.241	935	2,287	1,118	1,169	2.45	9,490
美しが丘西一丁目	0.221	786	2,117	1,043	1,074	2.69	9,579
美しが丘西二丁目	0.488	1,630	4,200	2,024	2,176	2.58	8,607
美しが丘西三丁目	0.474	1,926	4,702	2,291	2,411	2.44	9,920
あざみ野南一丁目	0.160	732	1,778	879	899	2.43	11,113
あざみ野南二丁目	0.145	740	1,642	795	847	2.22	11,324
あざみ野南三丁目	0.171	404	1,034	516	518	2.56	6,047
あざみ野南四丁目	0.148	506	1,542	763	779	3.05	10,419
みすずが丘	0.122	440	1,148	556	592	2.61	9,410
青葉区合計	35.058	140,750	307,095	148,255	158,840	2.18	8,760

3 地域経済

青葉区内の事業所数は、卸売業、小売業が1,669事業所と最も多くなっています。
平成28年と令和3年を比較すると、事業所数、従業者数ともに増加しています。
横浜市全体と比較すると建設業等が少なく、教育、学習支援業等が多いです。

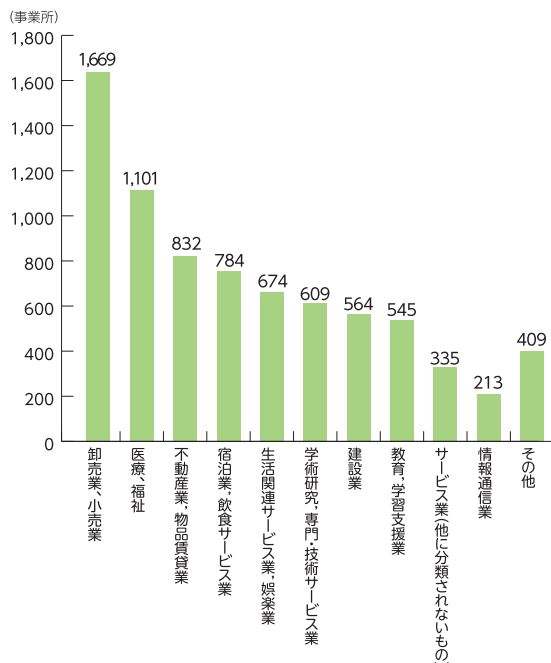


(1) 経済センサスから

● 青葉区の事業所数・従業者数

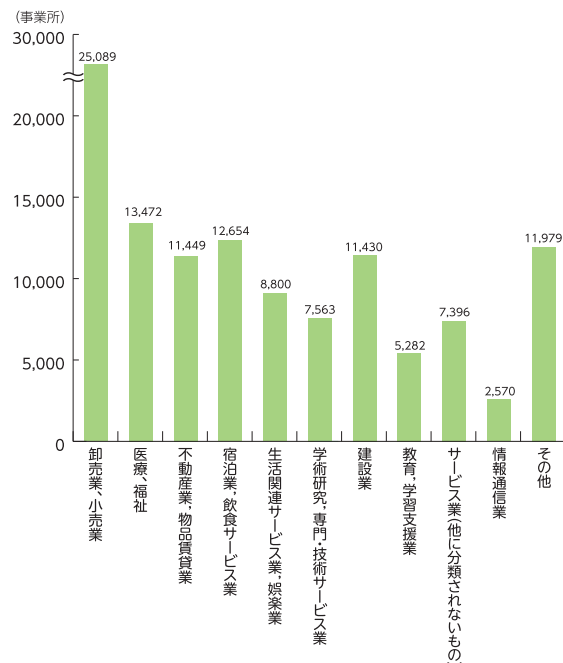
	事業所数	従業者数(人)	基準日
平成28年経済センサスー活動調査	7,217	76,000	平成28年6月1日
令和3年経済センサスー活動調査	7,735	80,985	令和3年6月1日

● 青葉区の事業所数



資料：令和3年経済センサス-活動調査

● 横浜市の事業所数



資料：令和3年経済センサス-活動調査

● 青葉区の町丁別事業所数トップ20

順位	町丁名	事業所数	順位	町丁名	事業所数
1位	市ケ尾町	646	11位	美しが丘五丁目	184
2位	青葉台二丁目	425	12位	しらとり台	180
3位	美しが丘一丁目	407	13位	藤が丘二丁目	176
4位	美しが丘二丁目	293	14位	奈良町	161
5位	青葉台一丁目	275	15位	大場町	151
6位	荏田町	231	16位	新石川二丁目	146
7位	あざみ野二丁目	226	16位	田奈町	146
8位	あざみ野一丁目	212	18位	榎が丘	144
9位	鴨志田町	201	19位	美しが丘四丁目	142
10位	藤が丘一丁目	188	20位	新石川一丁目	137

資料：令和3年経済センサス-活動調査

3

地域経済

青葉区の農家数は横浜市18区中2位、住宅数は4位です。青葉区では販売農家よりも自給的農家の方が多く、自給的農家の経営耕地面積は18区中1位です。青葉区は面積は18区中2位ですが、住宅数は18区中4位となっています。



(2)2020年農林業センサスから (令和2年2月1日現在)

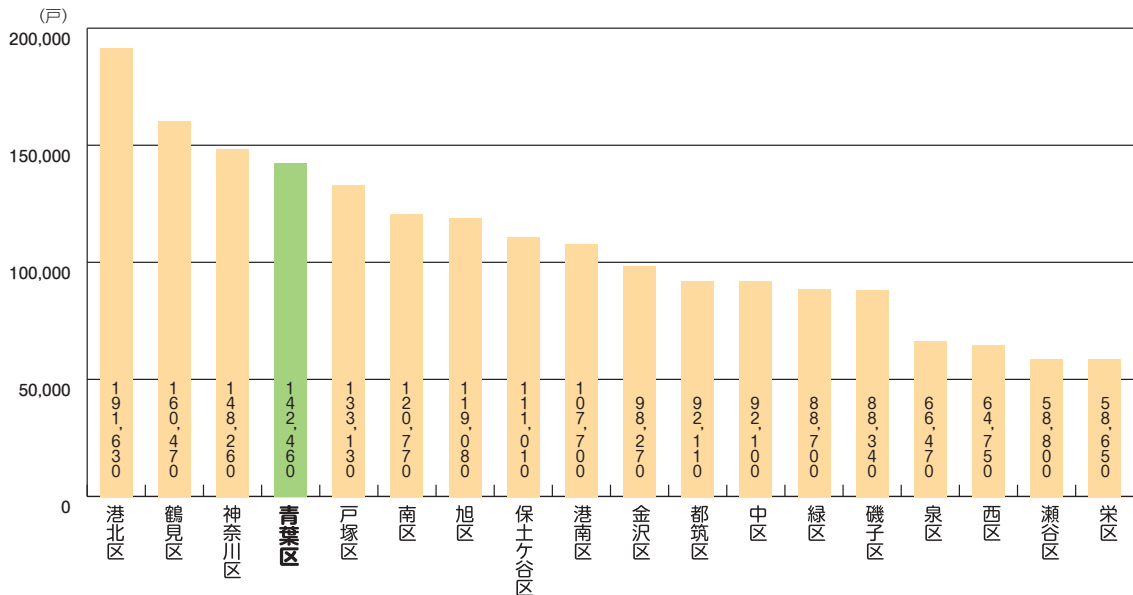
●18区別の農家数・経営耕地面積

	経営耕地のある農家数(戸)			経営耕地のある農家の経営耕地面積(a)			農家一戸あたりの経営耕地面積(a/戸)		
	販売農家	自給的農家		販売農家	自給的農家		販売農家	自給的農家	
都 筑 区	417	235	182	20,045	16,982	3,063	48	72	17
青 葉 区	392	167	225	16,823	13,079	3,744	43	78	17
泉 区	351	223	128	24,734	22,469	2,265	70	101	18
緑 区	324	202	122	19,171	16,980	2,191	59	84	18
港 北 区	321	201	120	16,045	14,016	2,029	50	70	17
戸 塚 区	270	156	114	16,233	14,485	1,748	60	93	15
旭 区	235	110	125	10,333	8,281	2,052	44	75	16
瀬 谷 区	178	136	42	14,775	14,053	722	83	103	17
神 奈 川 区	144	115	29	11,834	11,403	431	82	99	15
保 土 ヶ 谷 区	106	74	32	6,358	5,836	522	60	79	16
栄 区	101	43	58	3,798	2,899	899	38	67	16
港 南 区	62	34	28	2,056	1,667	389	33	49	14
金 沢 区	54	25	29	1,458	1,083	375	27	43	13
鶴 見 区	42	15	27	2,997	2,602	395	71	173	15
磯 子 区	23	13	10	564	441	123	25	34	12
南 区	×	×	×	×	×	×	×	×	×
中 区	×	×	×	×	×	×	×	×	×
西 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横 浜 市	3,030	1,756	1,274	167,451	146,452	20,999	55	83	16

注1) 令和2年2月1日現在の経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯を農家としています。
 注2) ×は秘匿です。秘匿とは、集計結果をそのまま公表すると、個々の回答の内容が漏れる恐れがあるために、該当数値を伏せるものです。

(3)住宅・土地統計調査から (令和5年10月1日現在)

●18区別の住宅数



4 暮らし・生活・環境

青葉区の公園の面積は、街区公園の割合が半数近くを占めています。
 青葉区の土地利用状況としては、住居系の用途地域の割合が高く、商業や工業系の用途地域の割合は低いです。

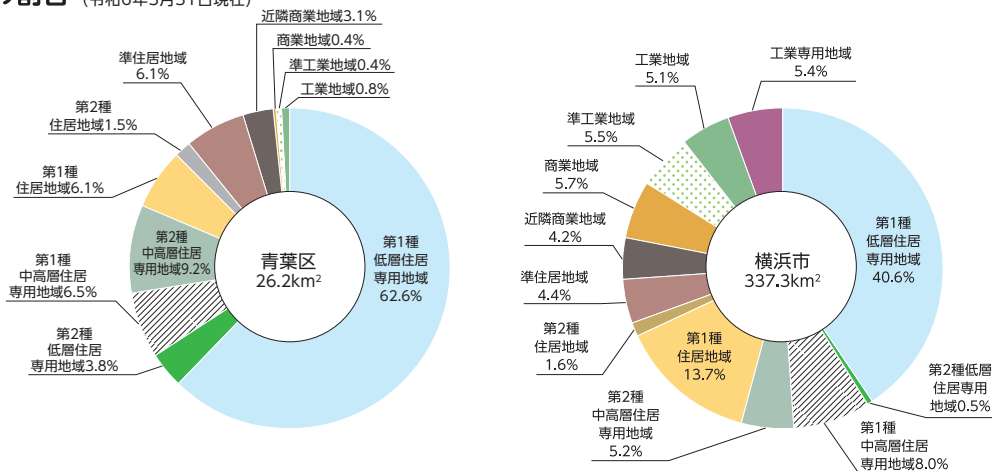


(1) 土地利用

●市街化区域の割合 (令和6年3月31日現在)



●用途地域の割合 (令和6年3月31日現在)



第1種低層住居専用地域	: 建ぺい率 30~60%、容積率 60~100%	準住居地域	: 建ぺい率 60%、容積率 200%
第2種低層住居専用地域	: // 40~60%、// 80~150%	近隣商業地域	: // 80%、// 200~400%
第1種中高層住居専用地域	: // 60%、// 150%	商業地域	: // 80%、// 400~800%
第2種中高層住居専用地域	: // 60%、// 150%	準工業地域	: // 60%、// 200~400%
第1種住居地域	: // 60%、// 200%	工業地域	: // 60%、// 200%
第2種住居地域	: // 60%、// 200%	工業専用地域	: // 40%・60%、容積率 200%

(2) 公園等

●公開公園数・面積

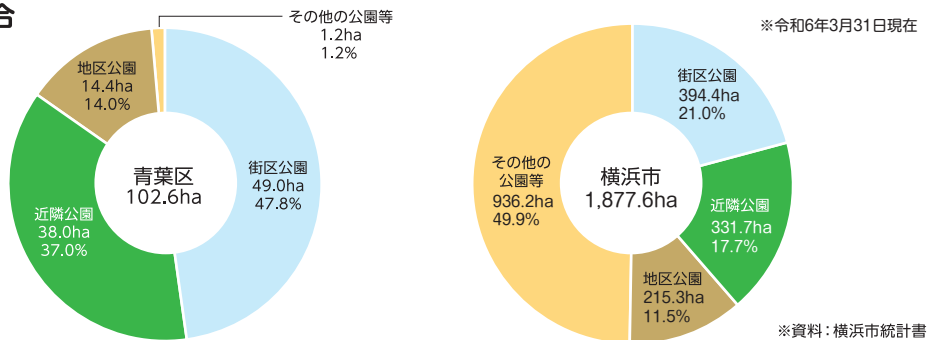
※令和6年3月31日現在

	地区公園		近隣公園		街区公園		その他の公園等		合計		1公園あたりの面積 (ha)
	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	
青葉区	4	14.4	26	38.0	199	49.0	6	1.2	235	102.6	0.44
横浜市	46	215.3	199	331.7	2,344	394.4	139	936.2	2,728	1,877.6	0.69

※資料：横浜市統計書

注1) 県立公園を含みます。
 注2) 地区公園：主に徒歩圏内の方の利用を目的とした公園で、誘致距離は1kmの範囲です。面積は4haを基準としています。
 近隣公園：主に近隣に住居する方の利用を目的とした公園で、誘致距離は500mの範囲です。面積は2haを基準としています。
 街区公園：主に街区内に住居する方の利用を目的とした公園で、誘致距離は250mの範囲です。面積は0.25haを基準としています。
 その他の公園等：緑地・緑道、運動公園などをいいます。

●公園の面積割合



4

暮らし・生活・環境

青葉区の道路延長は横浜市18区中1位となっています。また、高速道路や国道246号など幹線道路が通っていることが青葉区の特徴です。青葉区内の街路樹ではイチヨウが最も数が多いです。



(3)道路・交通

●道路

- ① 高速横浜環状北西線
- ② 新横浜元石川線
- ③ 国道246号
- ④ 真光寺長津田線
- ⑤ 日吉元石川線
- ⑥ 川崎町田線
- ⑦ 横浜上麻生線
- ⑧ 恩田線
- ⑨ 環状4号線
- ⑩ 柿生町田線
- ⑪ 元石川線
- ⑫ 長津田奈良線
- ⑬ 奈良2号線
- ⑭ 奈良3号線
- ⑮ 恩田元石川線

- 都市計画道路 整備済 (概成区間含む)
- 都市計画道路 事業中
- 都市計画道路 未整備

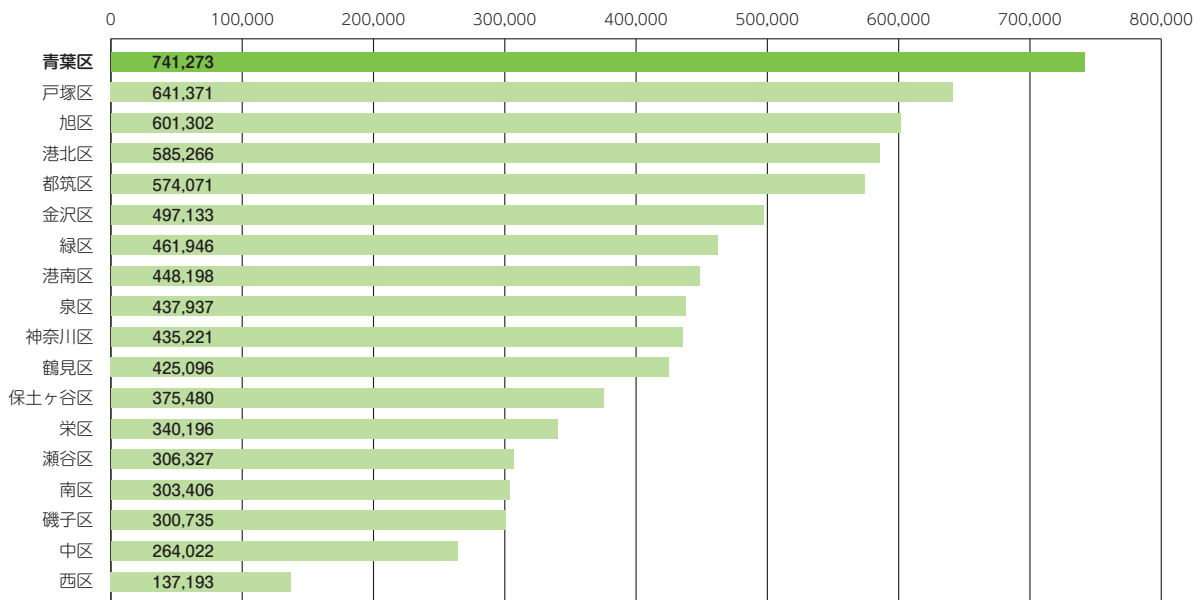
※令和6年11月現在



※ 資料：道路局企画課

●道路延長 (単位：m)

令和6年4月1日現在



※資料：横浜市統計書

●街路樹の状況 (単位：本)

令和5年3月31日現在

	イチヨウ	サクラ類	トウカエデ	ユリノキ	ハナミズキ	ケヤキ	プラタナス	ハナノキ	アキニレ	ヤマボウシ	その他	合計
青葉区	3,215	1,711	1,628	1,411	1,708	1,394	144	846	663	766	1,835	15,321
横浜市	15,740	7,677	5,065	8,508	5,762	6,286	2,620	3,251	2,930	2,182	26,432	86,453

※資料：道路局施設課

4 暮らし・生活・環境

令和5年の青葉区の交通事故件数、負傷者数はいずれも昨年より増加しました。事故数が多いのは、月別では10月、曜日別では火曜日、時間帯別では14～18時でした。原因別では交差点安全義務に関する事故が全体の4分の1以上を占めています。



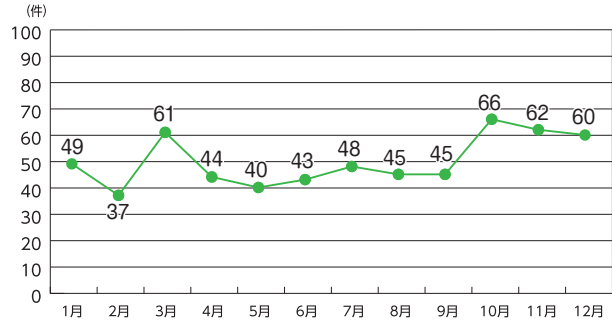
(4) 交通事故

● 交通事故件数・負傷者数・死亡者数

		件数(件)	負傷者数(人)	死亡者数(人)	1日平均件数(件)
青葉区	令和2年	507	563	3	1.3
	令和3年	613	702	3	1.6
	令和4年	543	625	1	1.5
	令和5年	600	707	0	1.6
横浜市	令和2年	7,398	8,468	48	20.2
	令和3年	7,883	8,997	36	21.5
	令和4年	7,492	8,483	38	20.5
	令和5年	7,703	8,909	40	21.1

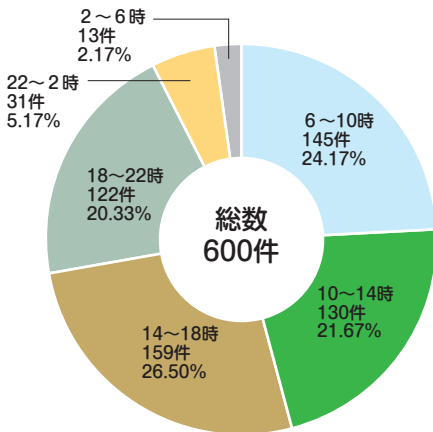
※ 資料：「青葉警察署，道路局交通安全・自転車政策課」

● 青葉区月別事故件数 令和5年



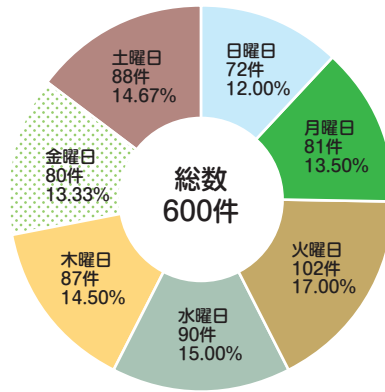
※ 資料：「青葉警察署，道路局交通安全・自転車政策課」

● 青葉区時間別事故件数 令和5年



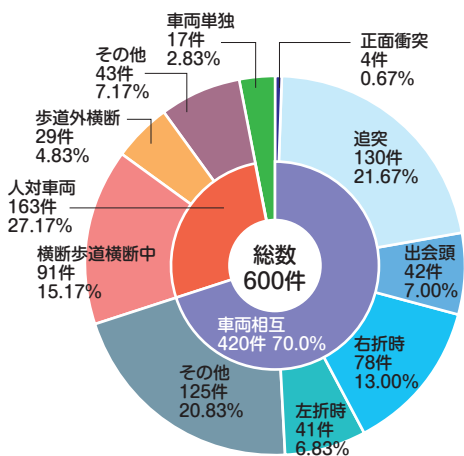
※ 資料：「青葉警察署，道路局交通安全・自転車政策課」

● 青葉区曜日別事故件数 令和5年



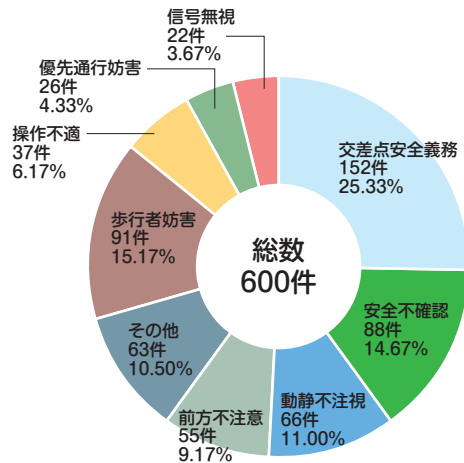
※ 資料：「青葉警察署，道路局交通安全・自転車政策課」

● 青葉区類型別事故件数 令和5年



※ 資料：「青葉警察署，道路局交通安全・自転車政策課」

● 青葉区原因別事故件数 令和5年



※ 資料：「青葉警察署，道路局交通安全・自転車政策課」

④暮らし・生活・環境

令和2年は鉄道の乗客数が例年に比べて大きく減っています。令和3年度からは乗客数が増加し続けていますが、令和5年度もほとんどの駅で令和元年度の数字を下回っています。

青葉区の1戸1日あたりの使用水量は横浜市の平均を上回っています。

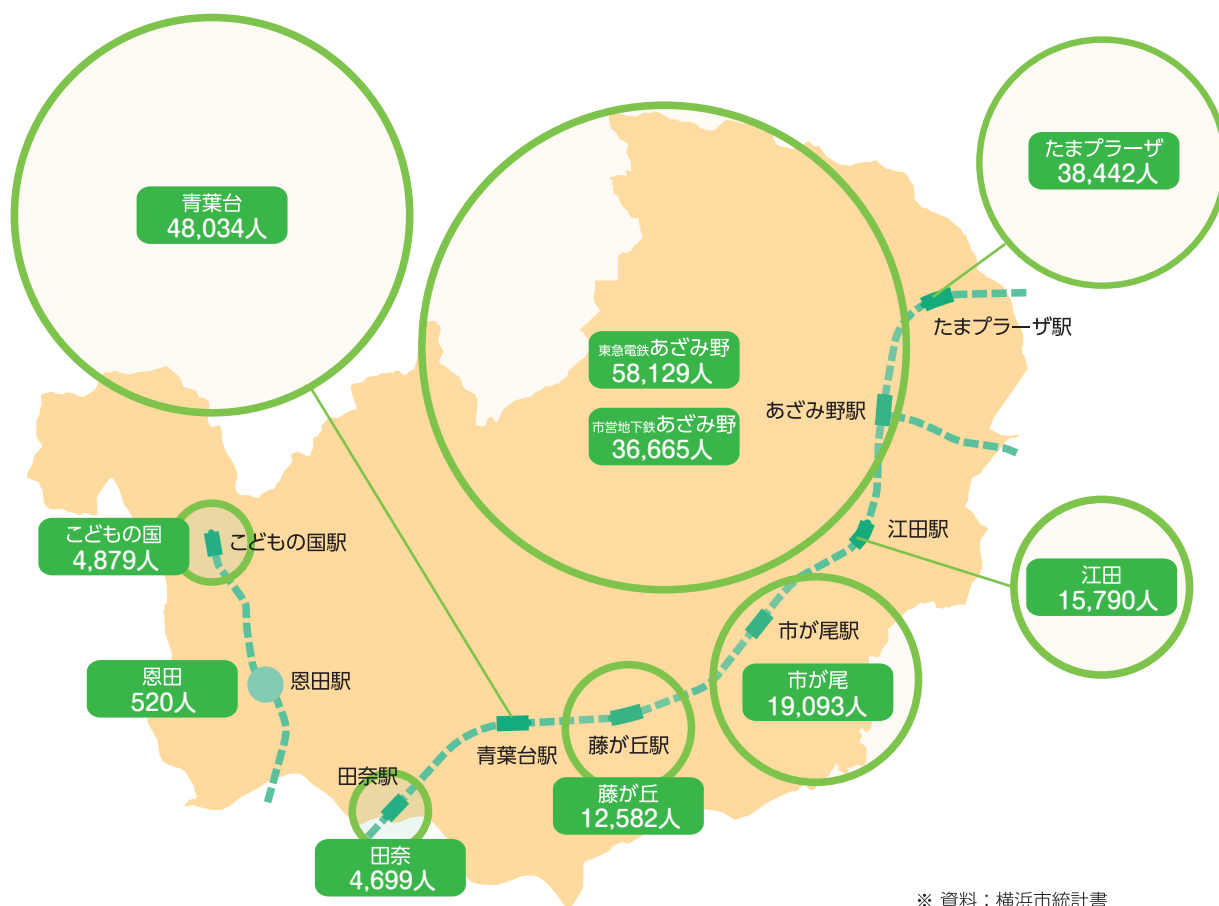


(5) 鉄道

● 青葉区内各駅1日あたり乗客数の推移

(単位：人/日)

	市営地下鉄 あざみ野駅	東急田園都市線						東急こどもの国線		
		たまプラーザ駅	あざみ野駅	江田駅	市が尾駅	藤が丘駅	青葉台駅	田奈駅	恩田駅	こどもの国駅
令和2年度	28,382	29,703	46,788	13,413	16,027	10,332	37,174	4,082	361	3,934
令和3年度	31,763	33,743	51,718	14,359	17,556	11,563	41,909	4,306	411	4,479
令和4年度	34,880	36,866	56,245	15,219	18,546	12,299	45,817	4,530	475	4,778
令和5年度	36,665	38,442	58,129	15,790	19,093	12,582	48,034	4,699	520	4,879



※ 資料：横浜市統計書

(6) 上水道

● 上水道の給水戸数及び使用水量

令和3年度

	給水戸数 (戸)	うち家事用 (戸)	年間使用水量 (1,000 m ³)	うち家事用 (1,000 m ³)	1戸1日あたりの使用水量 (家事用のみ) (m ³)
青葉区	145,347	134,284	30,312	26,806	0.55
横浜市	1,922,053	1,774,955	381,632	313,598	0.48

注1) 給水戸数には、業務用・公衆浴場用等を含みます。年度末の数値です。

注2) 1戸1日あたりの使用水量については、区推計です。

※ 資料：横浜市統計書

4 暮らし・生活・環境

1人1日あたりの燃やすごみ量は、青葉区・横浜市ともに減少しました。青葉区全体の令和5年度の燃やすごみ量は令和4年度に比べ1,676トン減少し、1人あたりの燃やすごみ量(原単位)は、4年度に比べて14グラム減少しました。



(7)ごみ

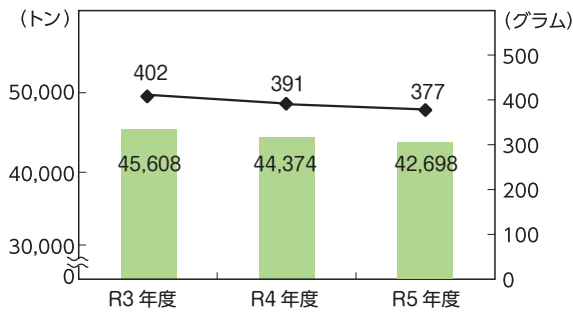
●燃やすごみ量・1人1日あたりの燃やすごみ量 (令和5年度)

	燃やすごみ量 (トン)			1人1日あたりの燃やすごみ量 (グラム)		
		対4年度比	対3年度比		対4年度比	対3年度比
青葉区	42,698	△3.8%	△6.4%	377	△3.6%	△6.2%
横浜市	515,449	△3.6%	△5.8%	373	△3.9%	△6.0%

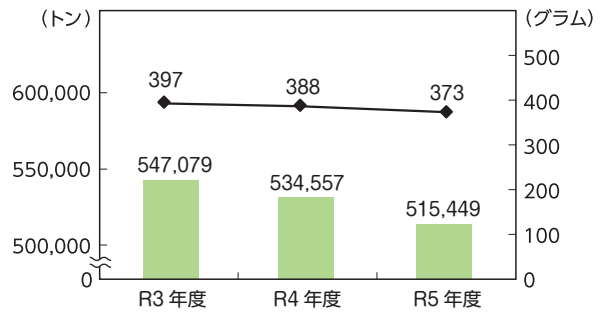
※ 資料：青葉区地域振興課

●燃やすごみ量の推移

【青葉区】



【横浜市】



■ 燃やすごみ量 ◆ 1人1日あたりの燃やすごみ量

※ 資料：青葉区地域振興課

●青葉区燃やすごみ量の年度別・月別推移

(単位：トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	3,911	4,387	3,831	4,064	3,935	3,576	3,908	3,854	3,755	3,820	3,100	3,469	45,608
R4年度	3,981	4,191	3,513	3,864	3,805	3,630	3,840	3,562	3,935	3,669	2,993	3,392	44,374
前年度差	70	△196	△318	△200	△130	54	△68	△292	181	△151	△107	△77	△1,234
R5年度	3,678	3,905	3,674	3,674	3,341	3,578	3,682	3,299	4,030	3,464	2,951	3,422	42,698
前年度差	△303	△286	161	△190	△463	△53	△158	△263	95	△205	△41	30	△1,676

※1トン未満を四捨五入しているため、毎月の合算値と年の合計が合わない場合があります。

※ 資料：青葉区地域振興課

●青葉区資源ごみ(缶・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装など)の年度別・月別推移

(単位：トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	761	788	749	789	764	782	731	727	743	756	688	754	9,033
R4年度	746	749	730	709	737	735	705	691	725	755	626	712	8,620
前年度差	△15	△39	△19	△80	△27	△47	△26	△36	△18	△1	△62	△42	△412
R5年度	652	740	683	644	683	678	692	670	680	727	640	654	8,144
前年度差	△94	△9	△47	△65	△54	△57	△13	△21	△45	△28	14	△58	△476

※実際に資源化された量です。

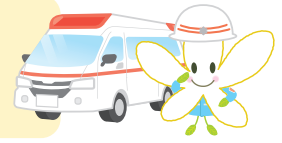
※資源集団回収量は含まれません。

※1トン未満を四捨五入しているため、毎月の合算値と年の合計が合わない場合があります。

※ 資料：青葉区地域振興課

4 暮らし・生活・環境

青葉区の令和5年火災発生件数は38件で、前年に比べ6件増加しています。また、令和5年救急出場件数は15,052件でした。これまで最も多かった前年の15,001件を上回り、2年連続過去最多を記録しました。



(8) 消防・救急

【消防】

● 火災発生状況

(単位：件)

		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	雑草火災	その他	合計
青葉区	令和3年	29	—	3	—	—	8	40
	令和4年	22	—	3	—	—	7	32
	令和5年	20	—	5	—	—	13	38
横浜市	令和3年	463	—	56	2	—	177	698
	令和4年	416	—	67	—	—	156	639
	令和5年	438	—	87	2	—	206	733

※資料：青葉消防署警防課

● 月別火災発生件数

(単位：件)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
青葉区	令和3年	4	6	3	2	4	5	2	3	2	1	5	3	40
	令和4年	5	1	2	3	4	1	1	4	3	4	1	3	32
	令和5年	4	1	6	1	3	4	7	1	3	3	3	2	38
横浜市	令和3年	68	80	84	60	49	47	56	46	46	46	59	57	698
	令和4年	61	65	56	69	47	38	31	52	47	46	52	75	639
	令和5年	66	72	75	62	53	51	74	51	54	60	49	66	733

※資料：青葉消防署警防課

● 火災の主な原因

(単位：件)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位					
青葉区	令和3年	こんろ	8	たばこ 電気機器	各4	放火(疑いを含む) ストーブ等	各2	排気管 布団乾燥機等	各1		
	令和4年	こんろ	7	たばこ	5	放火(疑いを含む)	4	電気機器 排気管	各2	配線器具 電気装置等	各1
	令和5年	たばこ 電気機器	各7	こんろ	4	放火(疑いを含む) たぎ火	各3	配線器具 ストーブ等	各1		
横浜市	令和3年	放火(疑いを含む)	122	こんろ	103	たばこ	102	電気機器	52	配線器具	25
	令和4年	たばこ	104	放火(疑いを含む)	93	電気機器	71	こんろ	68	配線器具	33
	令和5年	たばこ	125	放火(疑いを含む)	115	こんろ	81	電気機器	74	配線器具	44

※資料：青葉消防署警防課

● 青葉区町丁別放火火災 (疑いを含む)発生状況

(令和5年)

奈良一丁目	鴨志田町	桜台	計
1	1	1	3

(単位：件)

※資料：青葉消防署警防課

【救急】

● 救急出場件数

(単位：件)

		急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
青葉区	令和3年	8,236	2,382	579	1,132	12,329
	令和4年	10,424	2,760	580	1,237	15,001
	令和5年	10,486	2,784	684	1,098	15,052
横浜市	令和3年	140,967	37,404	8,833	17,223	204,427
	令和4年	174,178	42,786	8,987	18,135	244,086
	令和5年	181,882	44,776	9,141	18,837	254,636

※資料：青葉消防署警防課

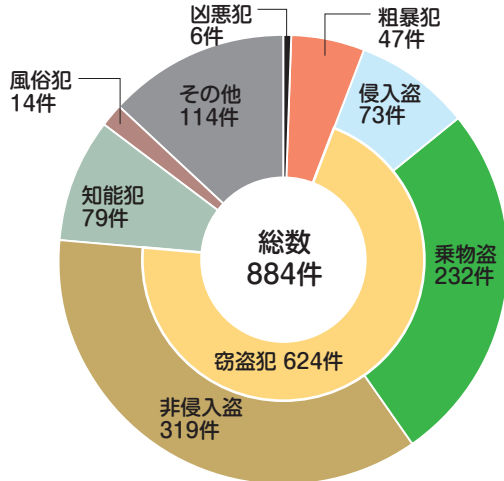
4 暮らし・生活・環境

令和5年の青葉区の犯罪認知件数は884件であり、令和4年の852件から少し増加していますが、10年前（平成25年）の1612件と比べると、約半分程度になっています。



(9) 犯罪

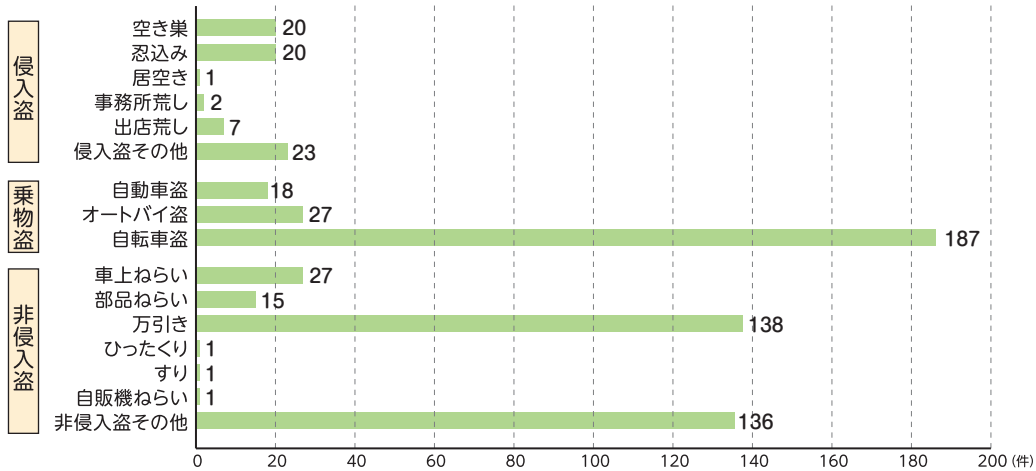
● 青葉区で認知された犯罪件数（令和5年）



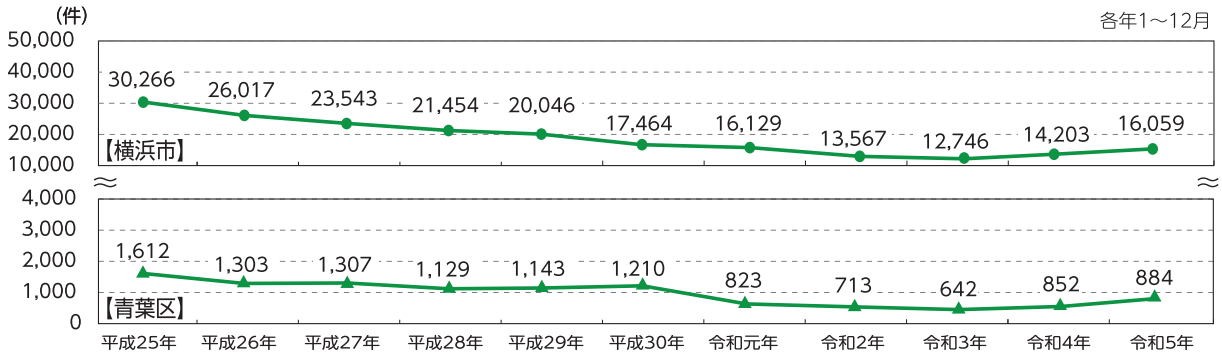
凶悪犯：殺人、強盗、放火、強制性交等
 粗暴犯：暴行、傷害、脅迫、恐喝等
 窃盗犯：侵入盗、乗物盗、非侵入盗
 知能犯：詐欺、偽造、横領、背任、汚職等
 風俗犯：賭博、わいせつ
 その他：器物損壊等

※ 資料：過去の犯罪統計資料/神奈川県警察
 刑法犯 罪名別市区町村別 認知件数(令和5年確定値)

● 窃盗犯の内訳



● 横浜市と青葉区の犯罪認知件数の推移



※過去の犯罪統計資料/神奈川県警察 刑法犯 罪名別市区町村別 認知件数

5 福祉

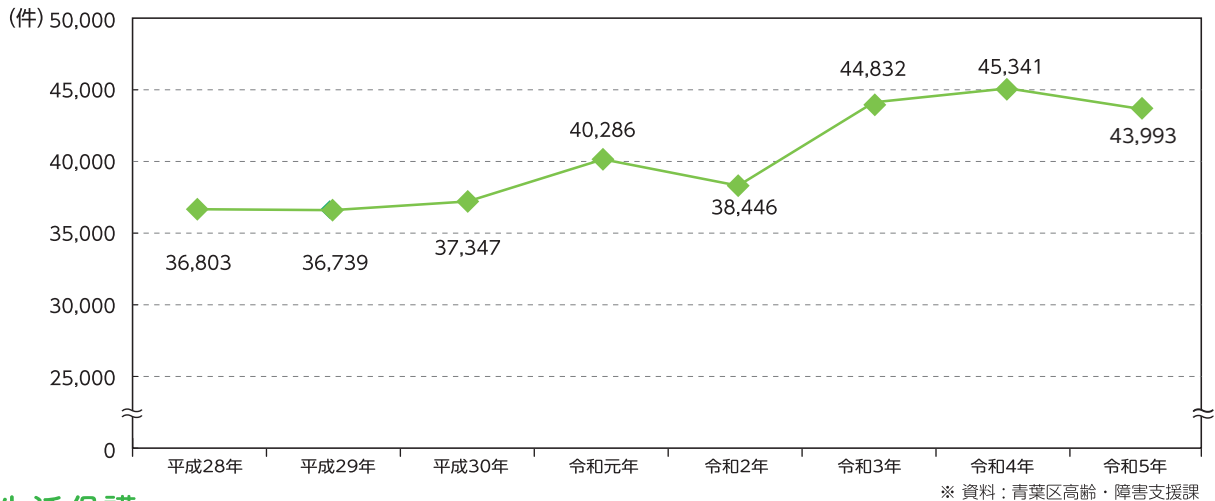
令和5年度の福祉保健相談の件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により下がった令和2年度以来、3年振りに減少しました。申請手続きのオンライン化が進む一方で、高齢者数は増加しています。引き続きご相談のニーズを捉えながら、丁寧な窓口運営を行ってまいります。

青葉区は、世帯に対する被保護世帯割合・人口に対する被保護人員割合がともに18区中2番目に少ないですが、被保護世帯数・人員数ともに微増傾向が続いています。



(1)福祉保健相談

●青葉区の相談件数



(2)生活保護

●生活保護を受けている世帯数・人員

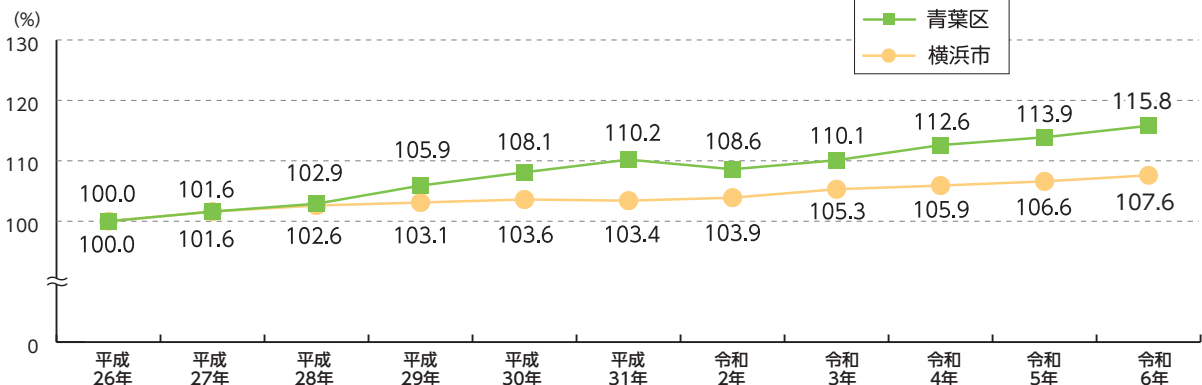
各年4月現在

	青葉区				横浜市			
	被保護世帯数 (世帯)	保護率 (%)	被保護人員 (人)	保護率 (%)	被保護世帯数 (世帯)	保護率 (%)	被保護人員 (人)	保護率 (%)
平成27年	1,752	1.40	2,459	0.80	52,907	3.23	71,022	1.91
平成28年	1,774	1.41	2,428	0.78	53,424	3.23	70,773	1.90
平成29年	1,826	1.44	2,443	0.79	53,684	3.22	70,475	1.89
平成30年	1,863	1.46	2,487	0.80	53,925	3.21	70,150	1.88
平成31年	1,899	1.48	2,506	0.81	53,844	3.17	69,305	1.85
令和2年	1,872	1.44	2,447	0.79	54,110	3.14	68,597	1.83
令和3年	1,898	1.41	2,446	0.79	54,806	3.11	68,847	1.82
令和4年	1,941	1.44	2,459	0.79	55,145	3.11	68,681	1.82
令和5年	1,963	1.45	2,480	0.80	55,499	3.10	68,659	1.82
令和6年	1,996	1.47	2,512	0.81	55,936	3.09	68,784	1.83

注) 保護率については、各年4月現在の世帯数・人口をもとに計算しています。

※ 資料：青葉区生活支援課

●被保護世帯数の伸び率の推移



5 福祉

青葉区の介護保険認定者数・障害者手帳所持者数はおおむね増加傾向で、特に精神障害者保健福祉手帳所持者数は右肩上がりに増加しています。精神障害に関する理解の促進と、サービス提供事業所の増加に伴い利用希望のニーズから申請に至ったケースが多く見られており、今後も増加の推移を辿るものと推測されます。



(3) 高齢者福祉

●青葉ふれあい見守り事業（高齢者等定期訪問）対象者数（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ひとり暮らし高齢者	1,180	1,128	1,092	1,257	1,207
高齢者世帯	185	147	149	131	133
その他	114	126	126	124	121

注1) 民生委員等から高齢者等の訪問事業を通じて連絡を受け、福祉保健課で把握している人数です。
注2) その他…日中独居、認知症、ねたきりの方等。

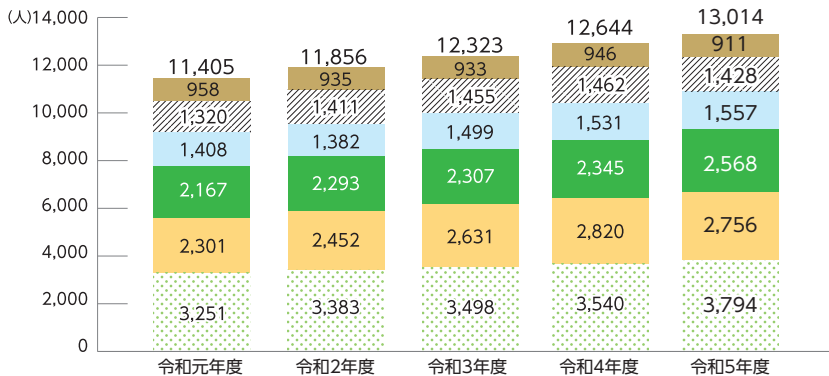
※ 資料：青葉区福祉保健課

●青葉区内の介護施設数

	施設数
デイサービス(通所介護)	36
ケアプラザ	12
介護老人保健施設	6
特別養護老人ホーム	14

(令和6年4月1日現在)

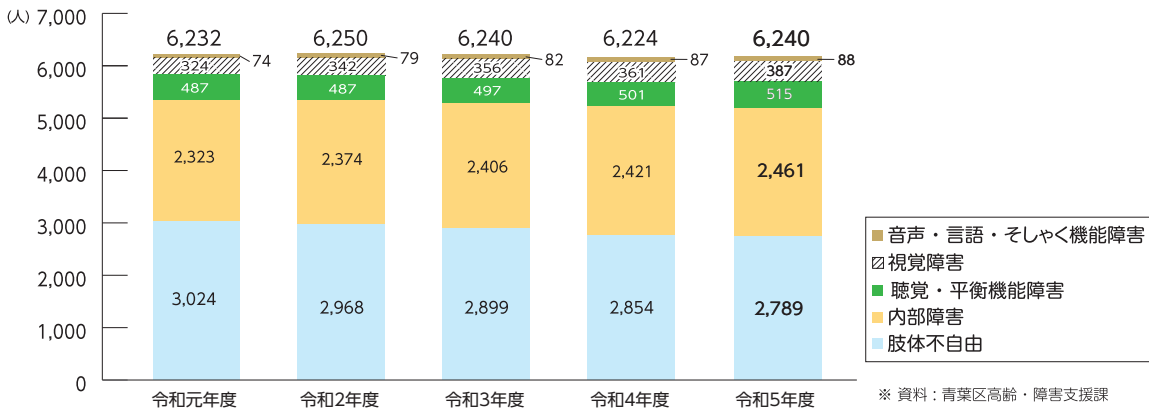
●青葉区の介護保険認定者数の推移



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

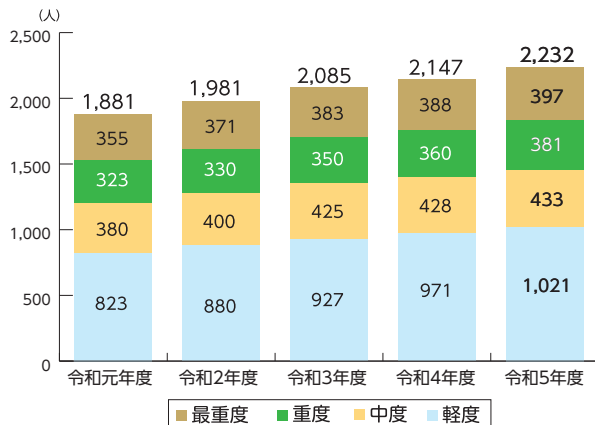
(4) 障害者福祉

●青葉区の身体障害者手帳所持者数



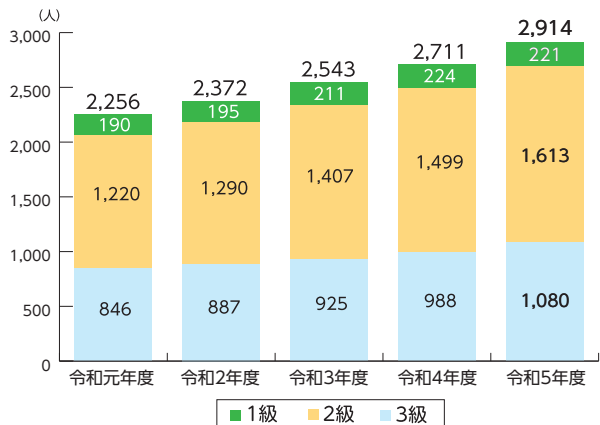
※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

●青葉区の知的障害者療育手帳(愛の手帳)所持者数



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

●青葉区精神障害者保健福祉手帳所持者数



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

5 福祉

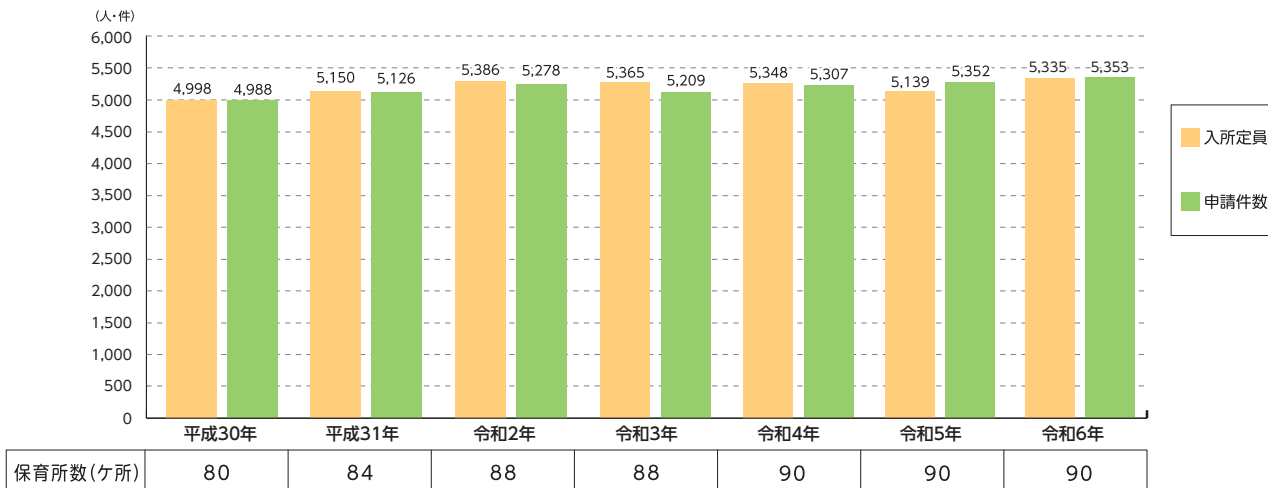
青葉区役所では地域の保育ニーズに応じた待機児童対策に取り組んでいます。窓口や電話で、保護者の方からの就学前のお子さんの預け先に関する相談に応じ、認可保育所のほか、横浜保育室や一時預かり事業、幼稚園預かり事業などの保育サービスについて情報を提供しています。



(5) 児童福祉

● 青葉区管内の保育所等入所定員と入所申請件数の推移

各年 4月1日現在

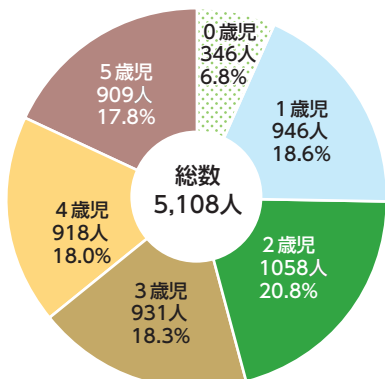


※地域型保育(家庭的保育、小規模保育)を含みます。

※資料：青葉区こども家庭支援課

● 青葉区管内保育所等の年齢別入所状況

(令和6年4月1日現在)



※資料：青葉区こども家庭支援課

● 小学生の放課後状況

(放課後キッズクラブ、放課後児童クラブ(学童保育))

施設数(件)		登録児童数(人)	
放課後キッズクラブ	放課後児童クラブ(学童保育)	放課後キッズクラブ	放課後児童クラブ(学童保育)
30	17	6,839	496

(令和6年4月1日現在)

※資料：青葉区こども家庭支援課

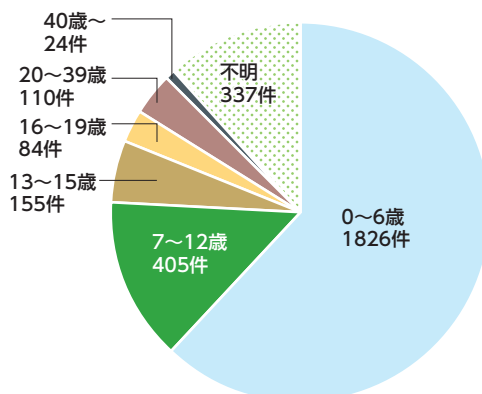
※放課後キッズクラブは、青葉区内の各小学校に1施設ずつ設置しています。実施校に通学する児童及びその学区に居住し私学等に通う児童の原則全員が登録可能です。(留守家庭児童等が対象の区分あり。)

● こども家庭相談事業の相談実績 (令和5年度)

【相談件数(件)】

電話	2,327
面談	1,026
その他・不明	7
合計	3,360

【年齢内訳(件)】



【相談内容(件)】

障害相談	864
ひとり親に関する相談	820
保健相談(基本的な生活)	116
保健相談(医療)	65
保健相談(育児環境)	27
保健相談(育児・しつけ)	222
育成相談(不登校など)	76
養護相談	446
その他・不明	724

※資料：青葉区こども家庭支援課

6 保健・衛生

青葉区では、悪性新生物(がん)が死因の一位です。
 青葉区の犬の登録数は市内で最も多く、頭数は近年ほぼ横ばいとなっています。
 ハチやネズミなどの衛生害虫等に関する相談では、例年ハチに関する相談が最も多くなっています。区内には衛生管理を必要とする営業施設が多くあります。



(1)保健

●青葉区の主な死因

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	635	635	674	698	720
心疾患	288	304	317	305	305
脳血管疾患	147	121	118	129	123
肺炎	138	136	101	97	86
老衰	250	301	315	405	425
不慮の事故	69	65	71	76	77
自殺	27	26	37	43	44

※資料：青葉区福祉保健課

(2)衛生

●犬の登録頭数の推移

	青葉区	横浜市
令和元年度	15,875	173,827
令和2年度	15,987	173,551
令和3年度	16,182	173,140
令和4年度	15,881	168,654
令和5年度	15,408	164,047

※資料：青葉区生活衛生課

●青葉区の衛生害虫等相談件数

	総件数	うちハチの件数
令和元年度	752	406
令和2年度	684	345
令和3年度	652	296
令和4年度	780	375
令和5年度	643	285

※資料：青葉区生活衛生課

●青葉区の主な生活衛生関係営業施設数の推移

	理容所	美容所	クリーニング所	公衆浴場	旅館	第一種動物取扱業	飲食店	菓子製造業	薬局
令和元年度	108	369	126	18	3	151	1775	219	133
令和2年度	106	363	119	17	4	143	1813	235	135
令和3年度	99	367	98	17	5	140	1784	240	145
令和4年度	100	381	93	17	5	137	1840	257	151
令和5年度	103	385	91	18	5	140	1796	270	153

※資料：青葉区生活衛生課



7 国民年金・国民健康保険

青葉区の年金(基礎年金)受給者数は増加の傾向にあります。青葉区の国民健康保険被保険者数は減少の傾向にあります。青葉区保険料収納額は令和3年度以降、保険料収納率は令和2年度以降再び上昇しています。



(1)国民年金

●被保険者数と受給者数の推移

(単位：人)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 (第1号被保険者)	青葉区	37,119	37,388	37,116	36,052	35,341
	横浜市	431,160	436,230	434,010	426,398	422,414
受給者数 (基礎年金)	青葉区	65,336	66,820	67,717	68,743	69,879
	横浜市	898,769	909,270	919,305	924,472	931,126

※資料：青葉区保険年金課

(2)国民健康保険

●被保険者数の推移、保険料収納状況の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 (人)	青葉区	51,438	50,518	49,348	47,080	44,871
	横浜市	692,785	674,944	654,822	620,887	593,521
保険料収納額 (千円)	青葉区	6,127,094	6,098,586	6,191,774	6,211,507	6,266,591
	横浜市	71,997,888	71,093,034	71,612,206	72,002,644	71,129,848
保険料収納率 (%)	青葉区	95.83%	96.19%	96.48%	96.62%	96.75%
	横浜市	94.95%	95.75%	96.05%	96.15%	96.29%

※資料：青葉区保険年金課



8 教育・生涯学習

青葉区には市立小学校が30校、市立中学校が13校あります。小学校、中学校ともに市内で最も多い校数となっています。

明治6(1873)年に創立された鉄小学校、田奈小学校、山内小学校、谷本小学校の4校は、令和5(2023)年に創立150年を迎えました!



(1) 学校

● 行政区別学校数(横浜市の小学校・中学校・義務教育学校、分校含む)

区	小学校	中学校	義務教育学校
鶴見区	23	10	0
神奈川区	18	7	0
西区	9	4	0
中区	9	5	0
南区	17	8	0
港南区	21	10	0
保土ヶ谷区	20	9	0
旭区	24	11	0
磯子区	16	7	0
金沢区	21	9	1

区	小学校	中学校	義務教育学校
港北区	26	9	0
緑区	15	5	1
青葉区	30	13	0
都筑区	22	8	0
戸塚区	27	11	0
栄区	14	6	0
泉区	14	7	1
瀬谷区	10	5	0
横浜市	336	144	3

※資料：令和6年度市立学校現況

● 横浜市立小学校 学校別学級・児童数

学校名	学級数	学級		児童数
		一般学級 (単式、1~6年)	個別支援 学級	
青葉台	21	19	2	606
あざみ野第一	26	22	4	669
あざみ野第二	23	19	4	567
市ヶ尾	27	22	5	713
美しが丘	19	15	4	441
美しが丘西	19	16	3	495
美しが丘東	18	16	2	497
荏子田	16	13	3	377
荏田西	28	23	5	764
榎が丘	22	18	4	544
恩田	18	14	4	417
桂	16	13	3	375
鴨志田第一	13	11	2	270
鴨志田緑	16	12	4	362
鉄	8	6	2	180

学校名	学級数	学級		児童数
		一般学級 (単式、1~6年)	個別支援 学級	
黒須田	21	18	3	561
嶮山	15	12	3	375
さつきが丘	19	16	3	465
新石川	23	19	4	615
田奈	21	17	4	518
つつじが丘	20	17	3	454
奈良	21	18	3	544
奈良の丘	16	12	4	321
東市ヶ尾	23	17	6	530
藤が丘	21	17	4	531
みたけ台	23	18	5	593
もえぎ野	20	16	4	534
元石川	16	13	3	403
山内	30	23	7	725
谷本	21	17	4	506

● 横浜市立中学校 学校別学級・生徒数

学校名	学級数	学級		生徒数
		一般学級 (単式、1~6年)	個別支援 学級	
青葉台	15	13	2	496
あかね台	14	12	2	450
あざみ野	17	15	2	567
市ヶ尾	19	15	4	579
美しが丘	10	8	2	282
鴨志田	11	9	2	270
すすき野	14	11	3	392

学校名	学級数	学級		生徒数
		一般学級 (単式、1~6年)	個別支援 学級	
奈良	18	16	2	595
みたけ台	11	9	2	279
緑が丘	16	12	4	462
もえぎ野	16	13	3	462
山内	22	18	4	684
谷本	23	20	3	759

※資料：令和6年度市立学校現況

8 教育・生涯学習

青葉区では、幅広い世代の方が地区センターを利用しています。
あざみ野駅から徒歩3分の場所にある山内図書館は、蔵書数が192,506冊あり、中央図書館(1,756,806冊)を除くと市内で1番の多さです。



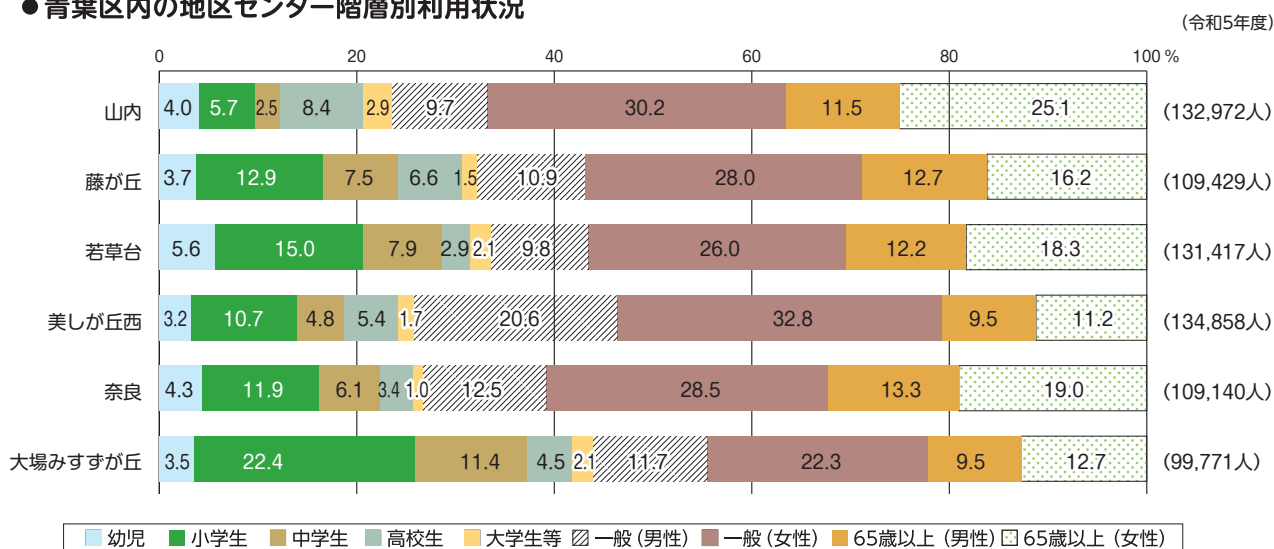
(2)文化

●青葉区内の区民利用施設利用状況

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)
公会堂	1	171,077	1	40,655	1	0	1	0	1	140,442
地区センター	6	841,199	6	397,272	6	567,629	6	687,021	6	717,587
コミュニティハウス	9	255,667	9	128,529	9	177,334	9	219,668	9	255,795
老人福祉センター	1	59,474	1	17,968	1	28,563	1	31,440	1	32,130
スポーツセンター	1	366,578	1	118,462	1	0	1	0	1	232,753
スポーツ会館	1	20,448	1	15,276	1	9,473	1	8,480	1	16,209
国際交流ラウンジ	1	14,838	1	3,287	1	4,328	1	9,220	1	9,941
こどもログハウス	1	93,826	1	38,545	1	48,238	1	29,619	1	79,451
区民文化センター	1	77,990	1	30,174	1	56,346	1	23,640	1	71,037

※資料：青葉区地域振興課

●青葉区内の地区センター階層別利用状況



※資料：青葉区地域振興課

●山内図書館の実績 (令和5年度)

	実績	備考
閲覧席(席)	79	令和6年3月31日現在
図書(冊)	192,506	令和6年3月31日現在
貸出利用者数(人)	201,382	貸出延長による数を含みます。
貸出冊数(冊)	646,582	貸出延長による数を含みます。
入館者数(人)	428,626	
開館日数(日)	331	

※資料：「横浜市の図書館2024」(横浜市立図書館年報)



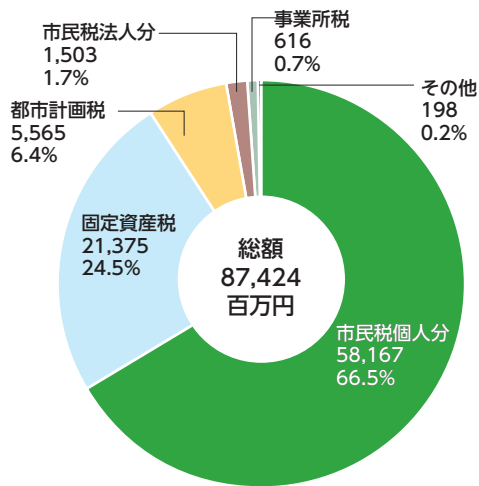
9 市税

市税収入の税目別構成比をみると、青葉区、横浜市ともに個人の市民税が大きな割合を占めていますが、2つのグラフを比べると、横浜市全体では個人の市民税が49%であるのに対し青葉区では67%とさらに大きな割合となっていることが分かります。市税収入額及び収納率の推移をみると、市税収入額は、令和3年度以降、増加に転じています。収納率は、青葉区、横浜市ともに99%と高い水準を維持しています。

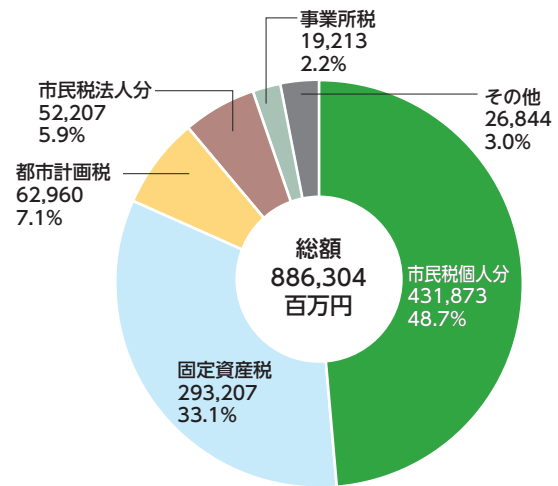


●市税収入の税目別構成比 (令和5年度)

【青葉区】



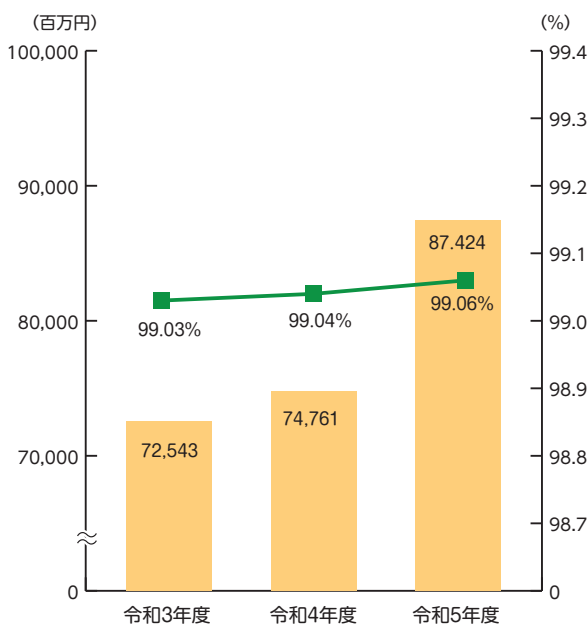
【横浜市】



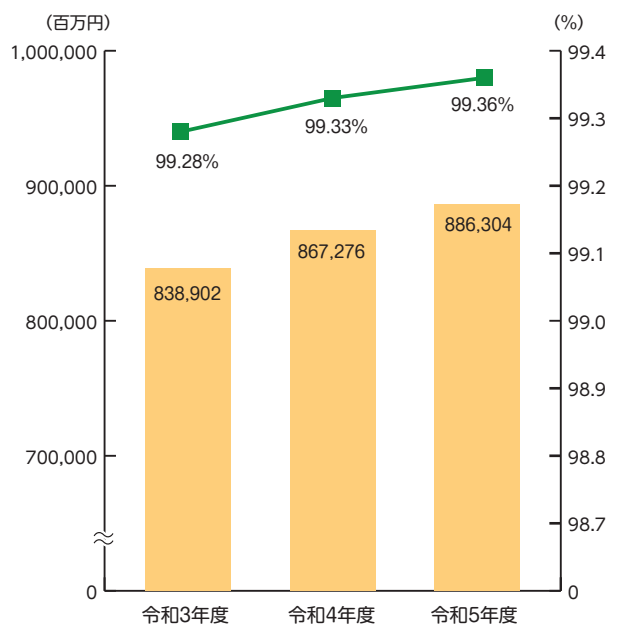
出典：市税決算額調、市税賦課額調

●市税収入額及び収納率の推移 (3か年)

【青葉区】



【横浜市】



■ 収入額 ◆ 収納率

出典：市税決算額調、市税賦課額調

※青葉区の市民税個人分は、青葉区徴収分に加え、市外特別徴収分（市外地勤務の特別徴収額）も含めた金額です。

10 戸籍・住民登録

証明発行件数はコンビニ交付等の割合が増加しています。
 住民登録世帯数は増加する一方で、住民登録人口は徐々に減少しています。本籍数及び本籍人口は増加しています。
 外国人人口を国籍別にみると、中国籍の人が最も多く、約24%を占めています。



●青葉区戸籍・住民登録の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住民登録世帯数	138,742	139,704	140,265
住民登録人口	310,061	309,327	307,659
本籍数	83,842	84,815	85,743
本籍人口	219,972	221,434	222,743

※資料：青葉区戸籍課

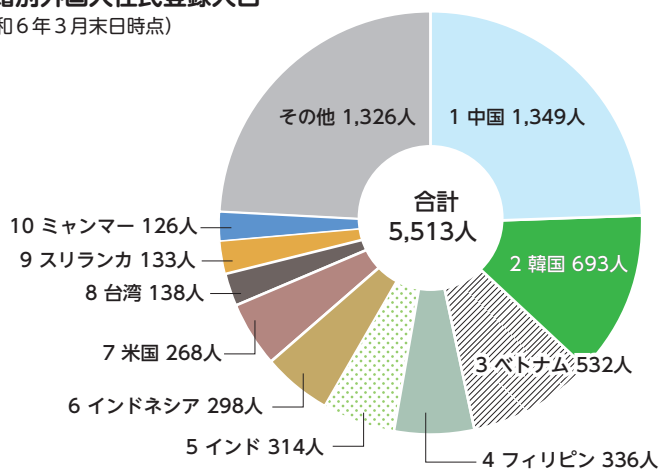
●青葉区住民異動届出状況等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
住民異動届出件数	29,957	29,737	28,754	
内訳	転入	11,251	10,915	10,379
	転出	11,499	11,121	10,892
	転居	3,812	3,447	3,295
	その他	3,395	4,254	4,188
印鑑登録者数	181,347	181,801	181,899	
外国人住民登録人口	4,327	4,978	5,513	

※資料：青葉区戸籍課

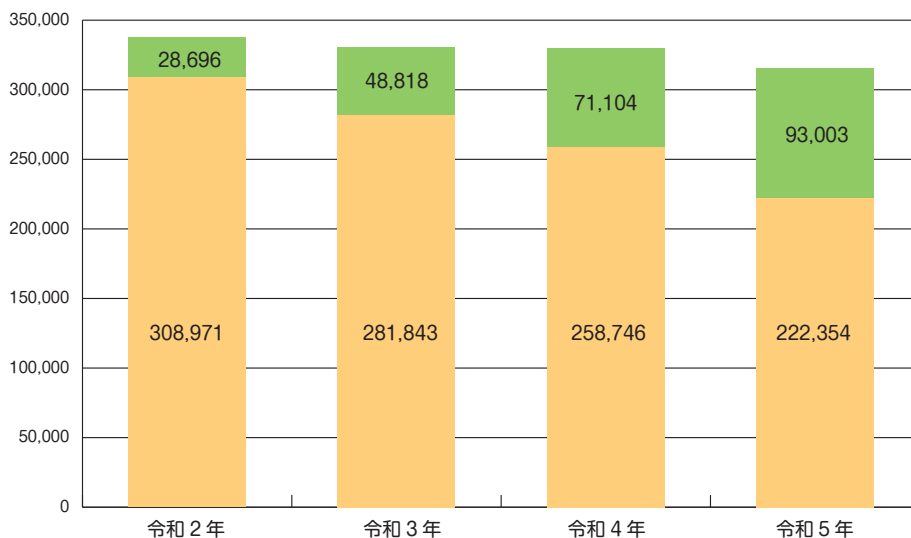
●国籍別外国人住民登録人口

(令和6年3月末日時点)



●証明書発行件数

(件)



■ コンビニ交付等件数 (マイナンバーカード使用)
 ■ 窓口及び郵送による発行件数

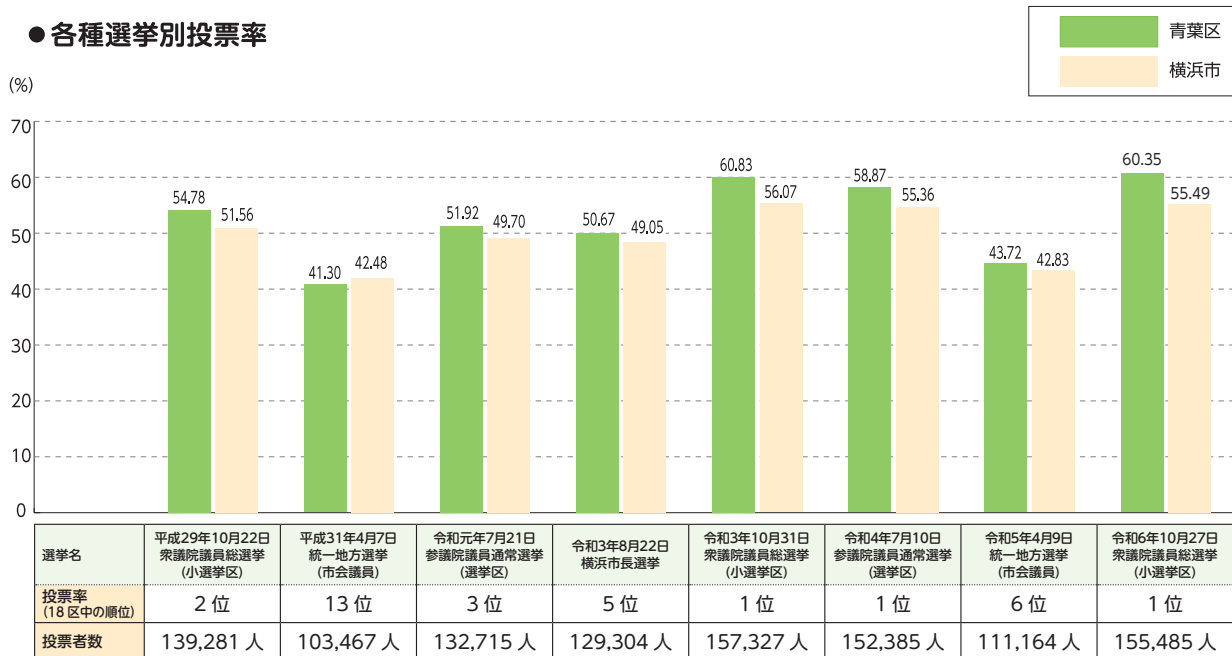
※資料：青葉区戸籍課

11 選挙

青葉区では衆議院議員総選挙や参議院議員通常選挙に比べて横浜市長選挙や統一地方選挙の投票率が低い傾向があります。令和5年の統一地方選挙では43.72%で市内6位でした。



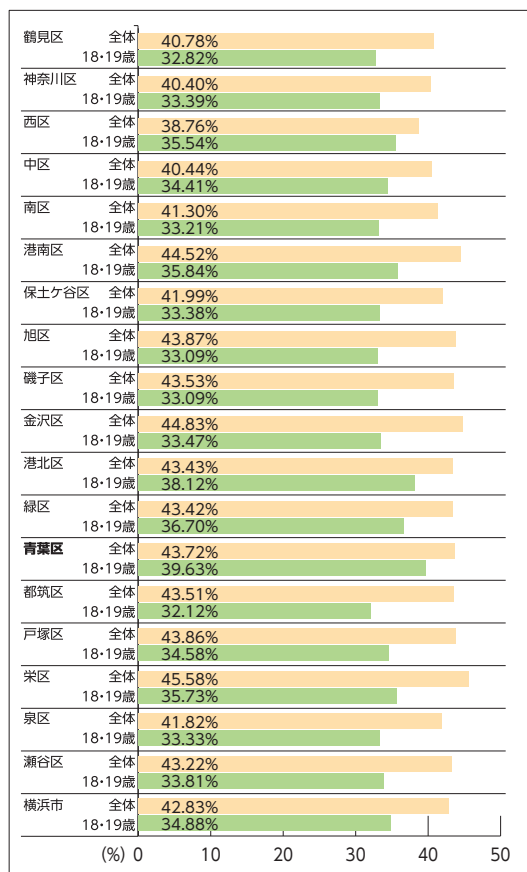
●各種選挙別投票率



※資料：青葉区選挙管理委員会

●令和5年4月9日執行 統一地方選挙（市会議員）

区別投票率



青葉区投票所別投票率

投票区	投票所	投票率 (%)
1	田奈小学校	39.69%
2	奈良中学校	42.12%
3	奈良北団地集会所 (2号棟)	46.14%
4	青葉台小学校	47.40%
5	青葉台中学校	44.21%
6	榎が丘小学校	44.54%
7	さつきが丘小学校	39.87%
8	つつじが丘小学校	44.09%
9	藤が丘小学校	44.33%
10	谷本中学校	45.12%
11	谷本小学校	39.84%
12	緑が丘中学校	42.53%
13	もえぎ野小学校	45.63%
14	みたけ台中学校	40.52%
15	鉄小学校	41.29%
16	大場地域ケアプラザ	44.46%
17	鴨志田中学校	48.51%
18	鴨志田第一小学校	44.09%
19	市ヶ尾小学校	43.55%
20	青葉区役所	38.78%
21	東市ヶ尾小学校	41.27%
22	荏田小学校	35.77%
23	山内小学校	41.90%
24	あざみ野中学校	44.38%
25	山内中学校	43.53%
26	あざみ野第一小学校	46.61%
27	たまプラーザ団地集会所	47.94%
28	美しが丘東小学校	45.11%
29	美しが丘中学校	45.53%
30	元石川小学校	44.59%
31	(旧)すすき野小学校	45.99%
32	嶮山小学校	48.71%
33	恩田小学校	43.90%
34	美しが丘西地区センター	43.59%
35	荏田西小学校	44.86%
36	新石川小学校	40.36%
37	あざみ野第二小学校	47.55%
38	荏子田小学校	40.81%
39	奈良の丘小学校	44.23%
40	奈良地区センター	41.88%
41	あかね台中学校	41.83%
42	みたけ台小学校	47.87%

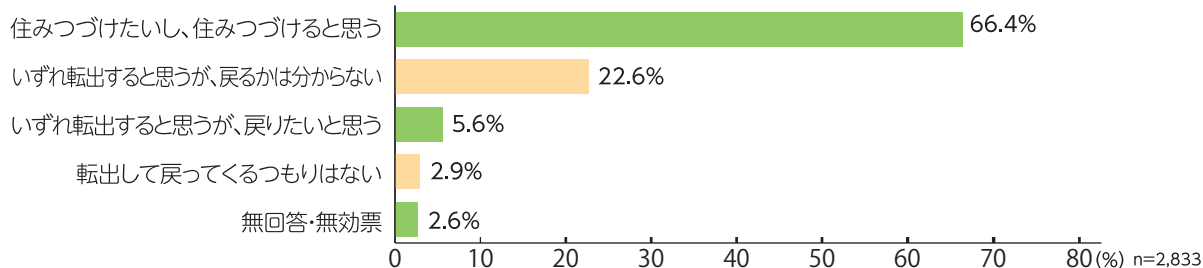
※在外選挙人は含みません。
※資料：青葉区選挙管理委員会

12 青葉区区民意識調査

青葉区に「住みつづけたいし、住みつづけると思う」と回答した人は6割を超えています。「地域とかかわりたい」と回答した人は8割と高い割合です。



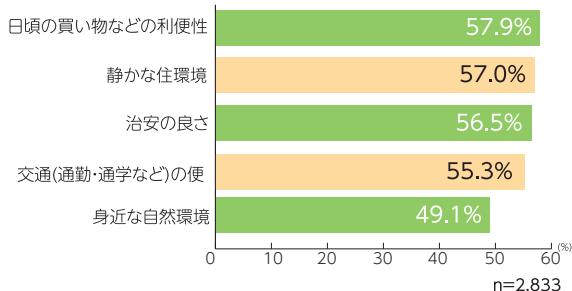
(1) 青葉区への定住意向



青葉区に住みつづけたいかという質問に対して、「住みつづけたいし、住みつづけると思う」が66.4%と割合が最も高く、次いで「いずれ転出すると思うが、戻るかは分からない」が22.6%となっています。

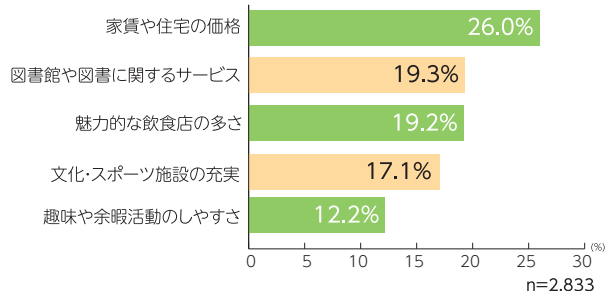
(2) 青葉区に住んで良かった点、良くなかった点（上位5項目）

● 良かった点



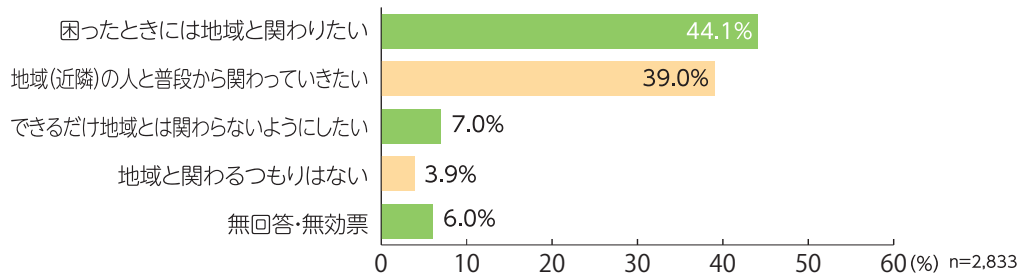
青葉区に住んでみて良かった点は、「日頃の買い物などの利便性」が57.9%と割合が最も高く、次いで「静かな住環境」が57.0%となっています。

● 良くないと感じた点



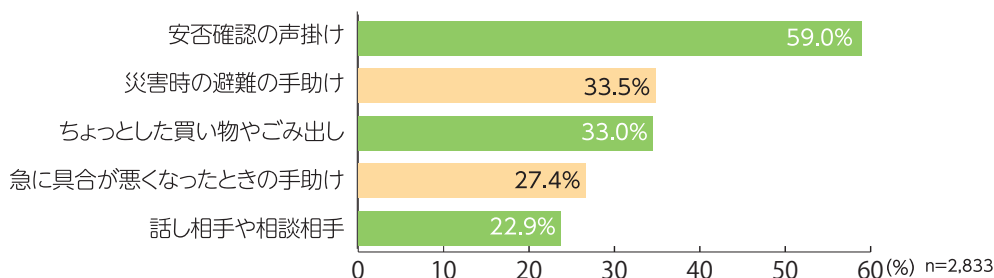
青葉区に住んでみて良くないと感じた点は、「家賃や住宅の価格」が26.0%と割合が最も高く、次いで「図書館や図書に関するサービス」が19.3%となっています。

(3) 地域とどのように関わっていききたいか



「困ったときには地域と関わりたい」が44.1%と最も高く、次いで「地域(近隣)の人と普段から関わっていききたい」が39.0%となっています。

(4) あなたは、地域の困っている人にどのような手助けができますか（上位5項目）



手助けのできることは、「安否確認の声掛け」が59.0%と割合が最も高く、次いで「災害時の避難の手助け」が33.5%となっています。

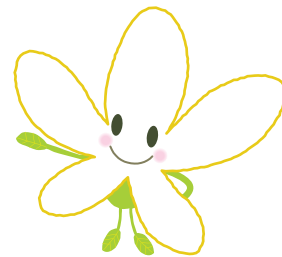
13 沿革

昭和	14年	4月	第6次市域拡張により、都筑郡の一部、田奈村、中里村、山内村の3村が横浜市に編入(当時港北区の一部に)
	39年	8月	東京沼津線(国道246号)開通
	40年	5月	こどもの国開園
	41年	4月	田園都市線(溝の口～長津田)開通
	42年	4月	こどもの国線開通
	43年	4月	東名高速道路(東京～厚木)開通
	44年	10月	緑区制施行(港北区から分区)
	47年	4月	青葉台に「青少年図書館」開館
	52年	4月	「山内地区センター・山内図書館」開館
		7月	山内支所誕生(出張所から支所に)
	57年	7月	「くろがね青少年野外活動センター」開設
	59年	4月	田園都市線(つきみ野～中央林間)開通
		12月	緑保健所北部出張所開設
	61年	11月	緑区役所北部支所開設(人口224,012人、79,755世帯でスタート)
	62年	11月	「寺家ふるさと村四季の家」開館
	63年	4月	緑北警察署開設(市ヶ尾町)・(平成6年11月青葉警察署に名称変更)
平成	元年	5月	みたけ台に「児童野外活動センター(こどもの杜)」開設
		10月	あざみ野駅行政サービスコーナー開設
		11月	「藤が丘地区センター」開館、「国際交流ラウンジ」開設
		12月	緑税務署新庁舎完成(市ヶ尾町)
	3年	7月	「市ヶ尾彫刻のプロムナード」完成(翌年、建設省(現:国土交通省)「手づくり郷土賞」受賞)
	4年	3月	「若草台地区センター」開館
		4月	「水道局緑北営業所」開業
		6月	「障害者地域活動ホーム(えだ福祉ホーム)」開設 「荏田地域ケアプラザ」開設
		12月	「横浜市港北区及び緑区の再編成に関する条例」の制定(新しい4区の区域の確定)
	5年	3月	横浜市営地下鉄、あざみ野駅まで延伸
		4月	「区民文化センター(フィリアホール)」開館(青葉台) 「こどもログハウス(ロケットハウス)」開設(美しが丘)
	6年	11月	青葉区制施行、人口245,587人、94,198世帯でスタート 青葉消防署、新庁舎にて業務開始 「美しが丘西地区センター」開館
	7年	3月	青葉土木事務所現庁舎に移転、業務開始
		4月	青葉区総合庁舎落成 「青葉公会堂」、「青葉スポーツセンター」開館
	8年	5月	青葉区役所旧庁舎、ボランティア活動拠点として再利用
	9年	10月	青葉区子ども・家庭支援センターが保健所に開設
		12月	「老人福祉センター ユートピア青葉」、「もえぎ野地域ケアプラザ」開設
	10年	3月	東名高速道路、「横浜青葉インターチェンジ」開通
		9月	「奈良地域ケアプラザ」開設

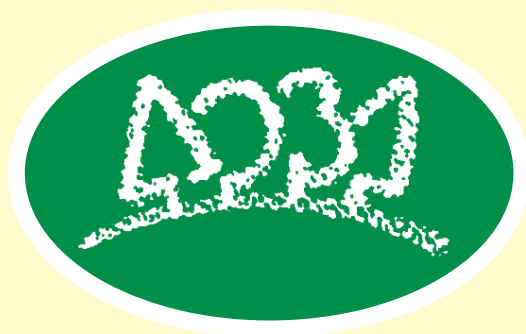


13 沿革

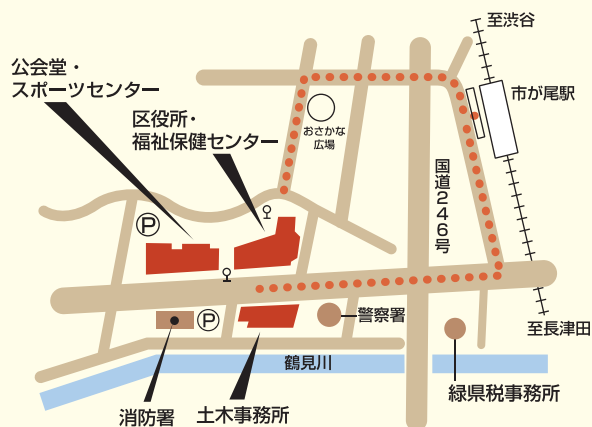
平成	11年	5月	「青葉台コミュニティハウス」開設
		7月	「横浜地方法務局青葉出張所」開設(川和出張所から移転)
		12月	「さつきが丘地域ケアプラザ」開設
12年	3月		「横浜青葉スポーツ広場」開設
			こどもの国線通勤線化 同時に恩田駅開業
		4月	「奈良地区センター」開館
13年	2月		「大場みすずが丘地区センター」開館
		11月	「美しが丘地域ケアプラザ」開設 資源循環局青葉事務所開設
14年	1月		「大場地域ケアプラザ」開設
		7月	「青葉の風」(中途障がい者地域活動センター)開設
16年	1月		「鴨志田地域ケアプラザ」開設
		11月	青葉区制10周年
17年	3月		青葉区区民交流センター「田奈ステーション」開設
		4月	青葉区福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」開設
		10月	「アートフォーラムあざみ野」開館
19年	4月		「横浜市立黒須田小学校」開校
		5月	人口30万人に到達 「まちのルールづくり相談センター」開設
		6月	「みたけ台コミュニティハウス」開設
20年	9月		「ほっとサロン青葉」開設
		11月	「ビオラ市が尾地域ケアプラザ」開設
21年	4月		青葉区マスコット制定・谷本公園一部開園
		11月	青葉区制15周年
22年	1月		「区内にキャンパスを有する6つの大学との連携・協力に関する協定」の締結
23年	3月		「あおば地域活動ホームすてっぷ・青葉台地域ケアプラザ」開設
		4月	「横浜市立あかね台中学校」開校
		7月	「青葉台消防出張所」開所
		8月	青葉区地域子育て支援拠点「ラファール」開設
		12月	「奈良消防出張所」開所
24年	1月		「恩田地域ケアプラザ」開設
25年	3月		「たまプラザ地域ケアプラザ」開設
		4月	「横浜市立美しが丘西小学校」開校
26年	11月		青葉区制20周年
		12月	「青葉スポーツプラザ」開設
28年	1月		「荏田西コミュニティハウス」開設
		12月	「すすき野地域ケアプラザ」開設
30年	3月		青葉区地域子育て支援拠点「ラファール」サテライト開設
		8月	「区民活動支援センター」青葉区役所内へ移転
令和元年	5月		「荏田コミュニティハウス」開設
		11月	青葉区制25周年
令和2年	3月		横浜北西線開通
		11月	青葉区青少年の地域活動拠点「あおばコミュニティ・テラス」開設
令和4年	3月		谷本公園拡張
令和6年	11月		青葉区制30周年



なるほどあおば 2024



区役所案内図



東急田園都市線「市が尾駅」から徒歩約8分
東急・小田急バス バス停「青葉区総合庁舎」下車

なるほどあおば 2024 ～データで見る青葉区～

発行:令和7年3月

編集:青葉区役所総務課

発行者:青葉区役所総務課

〒225-0024

横浜市青葉区市ケ尾町31-4

TEL:045-978-2323(総合案内)

FAX:045-978-2410